

平成26年度中間決算の概要

平成26年11月



すべてを地域のために

東邦銀行

目次

I. 福島県の復興と成長

| | |
|------------------|---|
| 1. 福島県の現状 | 2 |
| 2. 福島県の経済動向 | 3 |
| 3. 人口・雇用・地価の動向 | 4 |
| 3. インフラ復旧・企業立地動向 | 5 |
| 4. 県内の産業集積 | 6 |
| 5. 産業の動向 | 7 |

II. 平成26年度中間決算の概要(単体)

| | |
|----------------------|----|
| 1. 平成26年度中間決算の概要 | 9 |
| 2. 総預かり資産の状況 | 10 |
| 3. 貸出金の状況 | 11 |
| 4. 福島県内の預金・貸出金シェア | 12 |
| 5. 有価証券の状況 | 13 |
| 6. 資金利益の状況 | 14 |
| 7. 役務取引等収益(手数料収益)の状況 | 15 |
| 8. 経費の状況 | 16 |
| 9. 貸出資産の質 | 17 |
| 10. 経営の健全性 | 18 |
| 11. 株主の皆さま方へ | 19 |

III. 中期経営計画「東邦“一步一步”計画」

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 中期経営計画の概要(1) | 21 |
| 2. 中期経営計画の概要(2) | 22 |
| 3. 企業のライフステージに対応した支援 | |
| (1) 起業・創業支援への取組み | 23 |
| (2) 多様な資金ニーズへの対応 | 24 |
| (3) 地域の基幹産業および成長産業の支援 | 25 |
| (4) 海外マーケットへの進出支援 | 26 |
| (5) 事業再生支援・事業承継支援 | 27 |
| 4. 個人のライフステージに対応した支援 | |
| (1) 赤ちゃん世代からシニア世代まで | 28 |
| (2) 集まる預金の仕組みづくり・個人ローンの取組み | 29 |
| 5. 震災以降の店舗施策 | 30 |
| 6. 新たなATM戦略と店舗戦略 | 31 |
| 7. 他行・他業態との連携 | 32 |
| 8. 独自の研修体系「とうほうユニバーシティ」 | 33 |
| 9. 若手と女性、ベテランとシニアの活躍支援 | 34 |
| 10. 東邦銀行の行内クラブ活動 | 35 |
| 11. 地域貢献・CSRへの取組み | 36 |

I . 福島県の復興と成長

1. 福島県の現状

福島県は総面積東北2位、「製造品出荷額等」は東北1位（平成25年度）
広大な県土を活かした多彩な産業を有する

| | 震災前（平成22年度） | 震災直後（平成23年度） | 現在（平成24年度～） |
|-------|---|--|--|
| | 多彩な魅力あふれる県 | 東日本大震災発生 | 復興に向け着実に進捗 |
| 農林水産業 | <ul style="list-style-type: none"> 米、トマト、柿などの全国有数の産地 水稲収穫量 4,457百t 全国4位 農業産出額 2,330億円 東北2位 | <ul style="list-style-type: none"> 放射性物質の暫定基準を超えた農作物の出荷制限 水稲収穫量 3,536百t 全国7位 農業産出額 1,851億円 | <ul style="list-style-type: none"> 県産農林水産物のモニタリング 米の全袋検査実施 水稲収穫量 3,826百t 全国7位 <small>（平成25年度）</small> 農業産出額 2,021億円 回復基調 <small>（平成24年度）</small> |
| 観光産業 | <ul style="list-style-type: none"> 恵まれた自然環境、温泉・名勝地がある全国でも指折りの観光県 観光客入込総数 5,717万人 教育旅行宿泊者数 67万人 福島空港利用者数 28万人 | <ul style="list-style-type: none"> 観光客は原発事故や風評被害により大幅減少 観光客入込総数 3,521万人 教育旅行宿泊者数 13万人 福島空港利用者数 21万人 | <ul style="list-style-type: none"> 観光客数は震災前の8割まで回復 観光客入込総数 4,831万人 <small>（平成25年度）</small> 教育旅行宿泊者数 32万人 <small>（平成25年度）</small> 福島空港利用者数 24万人 <small>（平成25年度）</small> |
| 製造業 | <ul style="list-style-type: none"> 本県経済の中心となる産業 製造品出荷額等 509百億円 東北1位 全国新酒鑑評会 金賞数19 全国2位 | <ul style="list-style-type: none"> 7割の企業が「取引先から製品等の放射線測定を要請された」 会津地域でも「取引先からの部品等の納入遅延」が6割超発生 製造品出荷額等432百億円 東北1位 全国新酒鑑評会 金賞数22 全国2位 | <ul style="list-style-type: none"> 工場の新增設の動きが急増 製造品出荷額等 475百億円 東北1位 <small>（平成25年度）</small> 全国新酒鑑評会 金賞数26 全国1位 <small>（平成24年度）</small> 金賞数17 全国1位 <small>（平成25年度）</small> |

出所：福島県HP、平成23年度版福島県勢要覧、酒類総合研究所

出所：福島県HP、平成24年度版福島県勢要覧、酒類総合研究所、一般財団法人とうほう地域総合研究所

出所：福島県HP、平成25年度版福島県勢要覧、酒類総合研究所

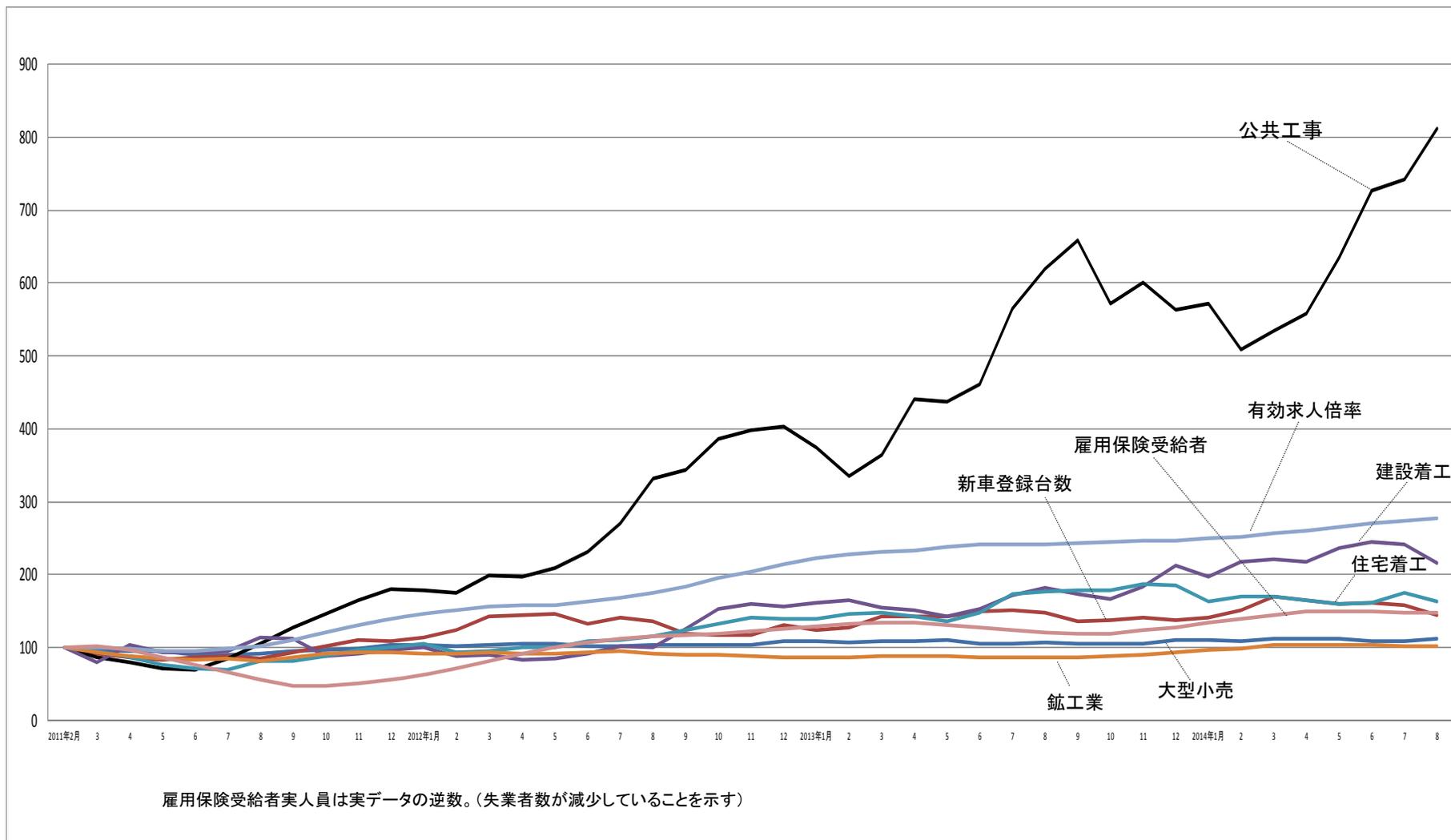
2. 福島県の経済動向

県内主要経済指標

福島県は“復興から成長”のステージへ

■平成26年8月の県内経済（震災前の平成23年2月を100として指数化）

○建設・雇用は好調、総じて震災前の水準を上回る

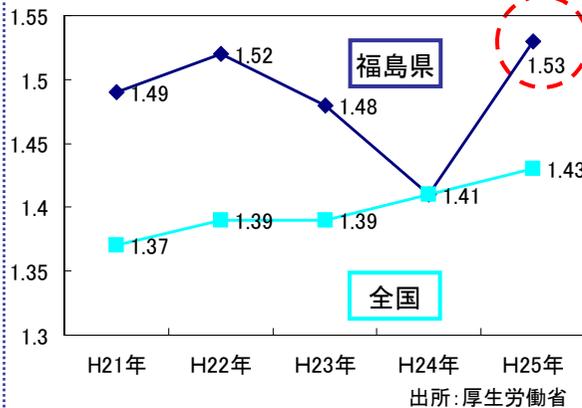


3. 人口・雇用・地価の動向

人口動向

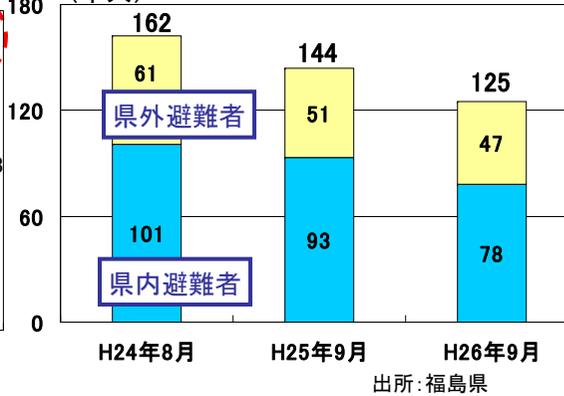
出生率が回復・県外からの**帰還傾向鮮明**

■震災前水準に戻る出生率
増加幅が全国最大
【出生率の推移】



■避難者数減少傾向

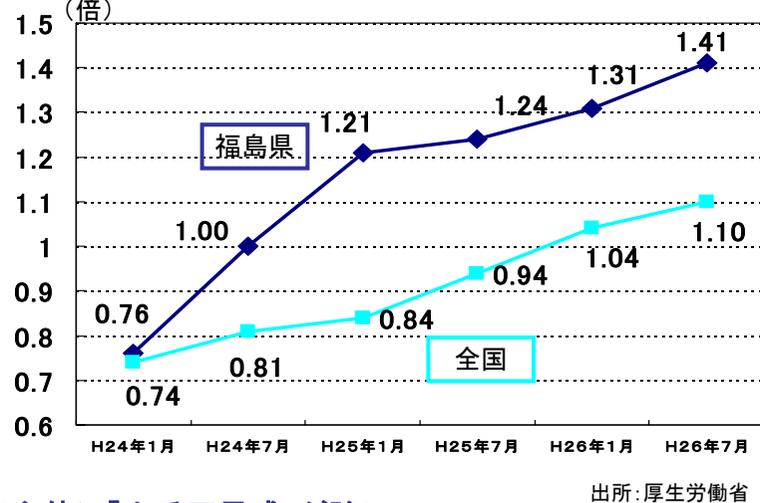
○ピーク(平成24年8月)比 37千人減
(千人)



雇用動向

復興需要を背景に引き続き求人倍率が高水準

■全国トップレベルの県内有効求人倍率



■建設関係を主体に「人手不足感」が強い

地価動向

新築住宅需要の増加により**地価上昇**

■平成26年 地価調査価格

用途別地価平均変動率

○住宅地平均変動率上昇幅 **全国第3位**

■いわき・郡山で2年連続上昇、
福島・相馬など6市町でプラス

【用途別地価平均変動率】

| 用途別 | | 住宅地 | 商業地 | 工業地 |
|------|-------|------|------|------|
| 主要都市 | 福島市 | 2.5 | 0.3 | 0.6 |
| | 郡山市 | 2.7 | 1.9 | 0.0 |
| | いわき市 | 5.7 | 2.6 | 1.9 |
| | 会津若松市 | 0.6 | 0.4 | 0.0 |
| 県平均 | | 1.0 | △0.2 | 0.7 |
| 全国平均 | | △1.2 | △1.1 | △1.5 |

出所:福島県 地価調査結果(平成26年9月18日発表)

【主な要因】

| | |
|-----|--|
| 中通り | 除染等により 住民帰還進む 幹線道路開通→利便性向上、 土地取引活発化 |
| 浜通り | 避難した住民の 帰還進む |
| 会津 | 観光入り込み回復→ 経済活性化 |

4. インフラ復旧・企業立地動向

インフラ整備

交通網の復旧整備が加速

■国道6号線

○全線で一般車両通行可能
(平成26年9月)

■JR常磐線

○相馬－浜吉田 再開予定
(平成29年春)

■常磐自動車道

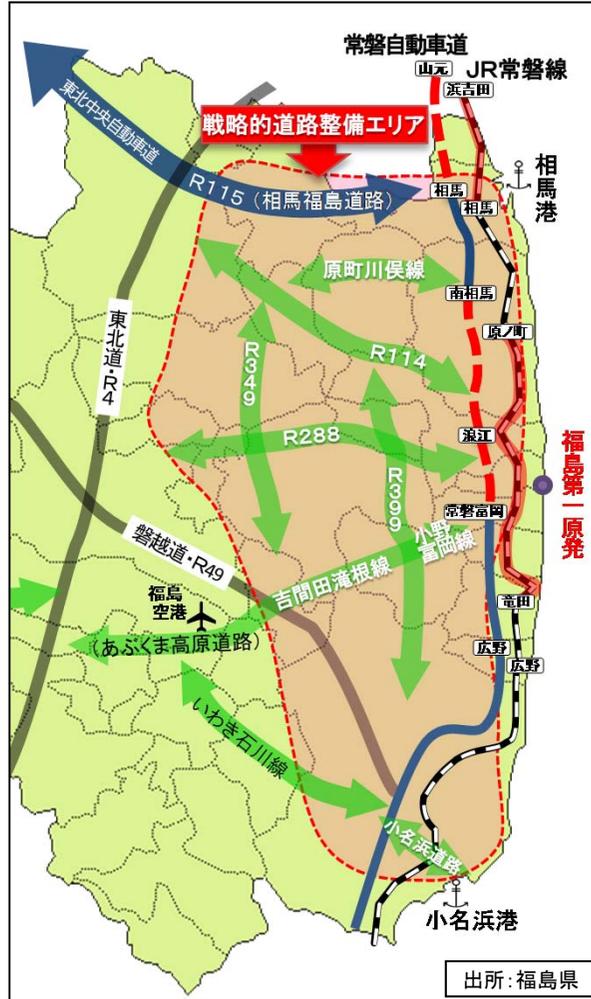
○全線開通予定
(平成27年ゴールデン・ウィーク前)

■東北中央自動車道

(福島JCT(仮)－米沢北IC間)
○全線供用開始予定
(平成29年度内)

■国道115号 相馬福島道路

(常磐道相馬IC～東北道福島北JCT(仮)間)
○全線開通予定
(平成30年度内)



企業立地動向

補助金制度が企業立地を後押し

■企業立地補助金の後押し (平成26年9月末現在)

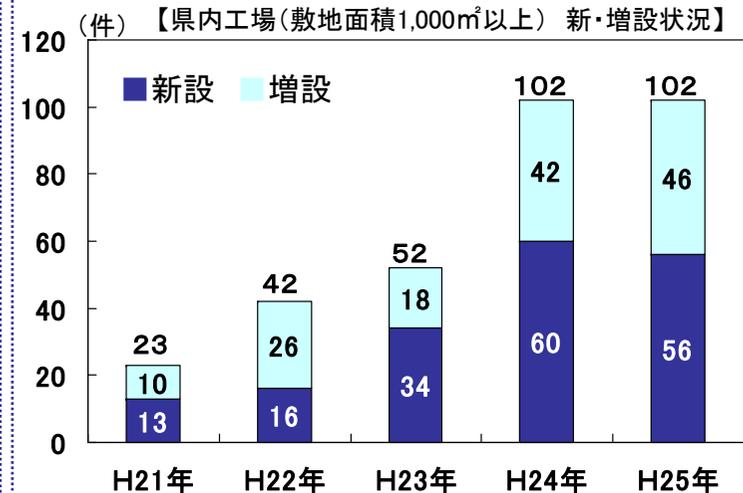
○ふくしま産業復興企業立地補助金

対象先 **425社** ▶ **約4,800人**
補助予定額 **2,243億円** 雇用創出見込み

○津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金

対象先 **182社** ▶ **約2,200人**
補助予定額 **831億円** 雇用創出見込み

■県内で工場の新増設の動きが急増



出所: 福島県商工労働部

5. 県内の産業集積

エネルギー関連・医療産業等の集積

各種研究開発・産業創出拠点の整備が進み復興の推進力に



6. 産業の動向

製造業

復興から成長に向けた戦略的な投資が加速

■助成制度や景気回復基調が後押しとなり、本県企業への再投資が堅調

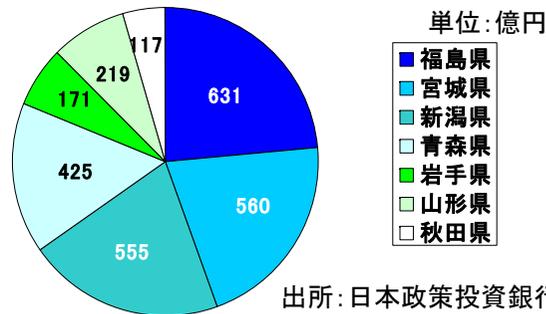
- 国・県の助成制度
- 景気回復基調による本県企業の業績改善傾向

■県内企業の平成26年度の設備投資計画額 ▶ **1,158億円**

○前年度実績比+40.9%(全国平均15.2%)

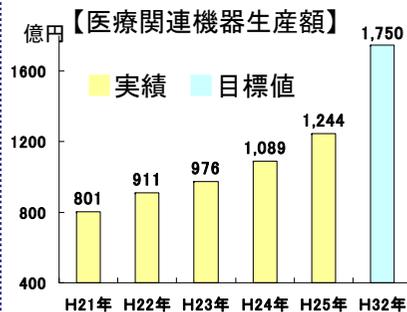
■本県、製造業の設備投資計画額は東北(+新潟県)で最多

【東北6県+新潟県の平成26年度設備投資計画額】



■平成25年度 本県医療関連機器生産額 前年比14%増

○4年連続の増加



【医療関連機器生産額 全国順位】

| | |
|-------|----------------|
| 平成21年 | 801億円(全国8位) |
| 平成22年 | 911億円(全国6位) |
| 平成23年 | 976億円(全国5位) |
| 平成24年 | 1,089億円(全国4位) |
| 平成25年 | 1,244億円(順位未発表) |

観光産業

様々なイベント等により観光再生が加速

■観光を盛り上げる様々なイベント

- OB-1 グランプリin郡山 ○日本陸上競技選手権大会
- 大河ドラマ「八重の桜」 ○東京ガールズコレクション in福島2014



来場者
約45万人

来場者
約1万人

■観光客入込総数 4,831万人、2年連続増

■本県への教育旅行 前年度比32.7%増

【福島県への教育旅行の利用実績推移】



【今後予定のイベント】

出所: 福島県観光物産交流協会

- ふくしまステーションキャンペーン(平成27年4月~6月)
- 第7回 太平洋・島サミット(平成27年5月)・いわき市

. 平成26年度中間決算の概要 (単体)

1. 平成26年度 中間決算の概要

中間純利益は前年同期比3億円の増益となり当初業績予想を上回る50億円を確保

(単位:億円)

| | 26年度 中間期(a) | 25年度 中間期(b) | 前年 同期比 |
|------------------------|----------------|----------------|------------|
| 経常収益(売上) | 312 | 307 | +5 |
| コア業務粗利益 | 241 | 236 | +5 |
| 資金利益 | 201 | 197 | +4 |
| 役務取引等利益 | 40 | 34 | +5 |
| その他業務利益 (除く:債券関係損益) | 0 | 4 | 5 |
| 経費 | 189 | 183 | +6 |
| コア業務純益(営業利益) | 51 | 52 | -1 |
| 有価証券関係損益 | 17 | 14 | +2 |
| 債券関係損益 | 6 | 6 | +0 |
| 株式等関係損益 | 8 | 11 | 3 |
| 金銭の信託運用損益 | 2 | 2 | +5 |
| 信用コスト | 6 | 3 | +10 |
| その他臨時損益 | 4 | 2 | +1 |
| 経常利益 | 79 | 66 | +12 |
| 特別損益 | 1 | 0 | 1 |
| 税引前中間純利益 | 78 | 67 | +11 |
| 中間純利益 | 50 | 46 | +3 |

平成26年度 中間決算のポイント

コア業務純益(銀行の本来業務で計上された利益)

()粗利益 - 経費

資金利益は、貸出金・有価証券残高ともに着実に増加
市場金利の低下等あるものの、**前年同期比増加**

役務取引等利益は、**預かり資産収益、Alwaysカード収益が寄与
前年同期比増加**

粗利益の増加により経費の増加を吸収し、**コア業務純
益は、前年同期の水準を確保**

有価証券関係損益

市況に応じた機動的売買等により、**前年同期比増益**

信用コスト

経営支援の積極的な展開により、**信用コストの戻入益**が発生

経常利益、中間純利益

経常利益、中間純利益ともに**前年同期比増加**

通期業績見通し

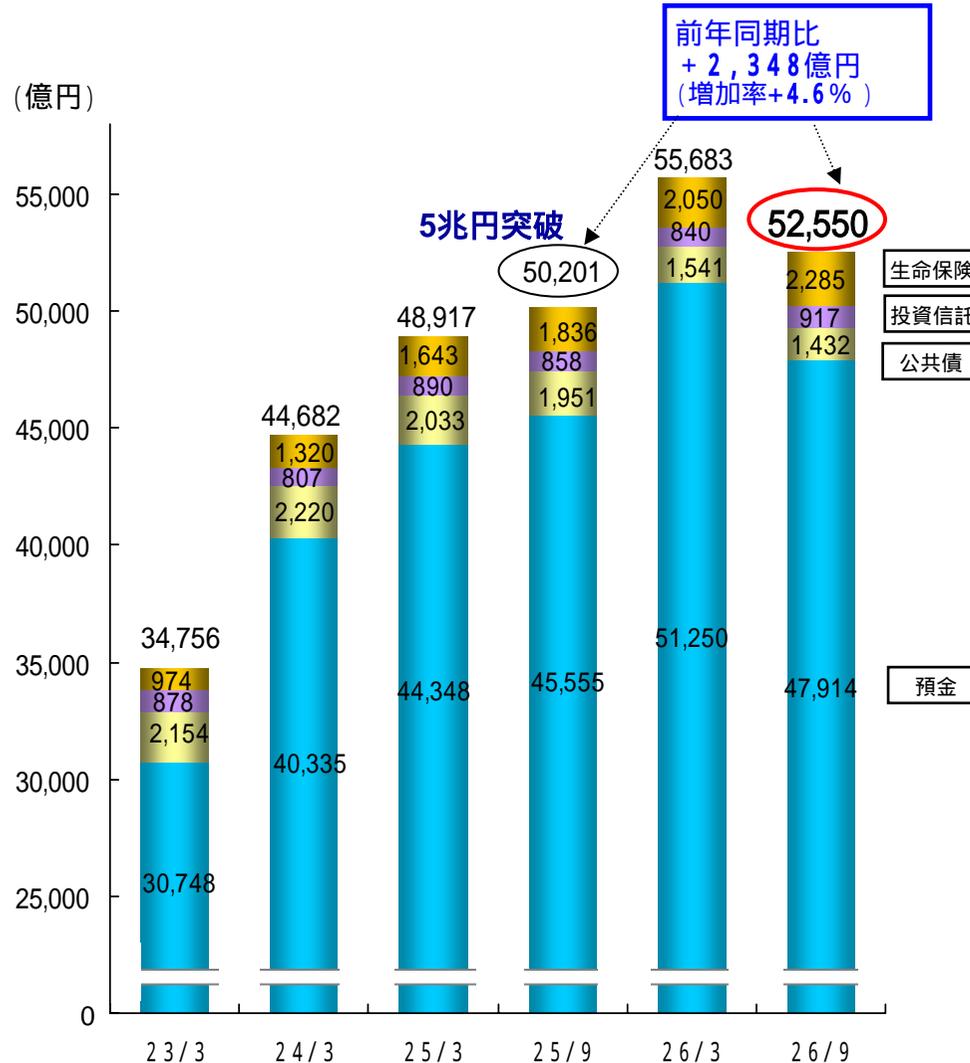
通期業績の達成に向け、着実に進捗

| 平成26年度公表 | | 中間期 | | | 通期 業績予想 |
|----------|-------|------|----|--------|------------|
| | | 業績予想 | 実績 | 達成率 | |
| 単 体 | 経常利益 | 65 | 79 | 121.5% | 140 |
| | 当期純利益 | 40 | 50 | 125.0% | 85 |
| 連 結 | 経常利益 | 65 | 80 | 123.0% | 141 |
| | 当期純利益 | 40 | 50 | 125.0% | 86 |

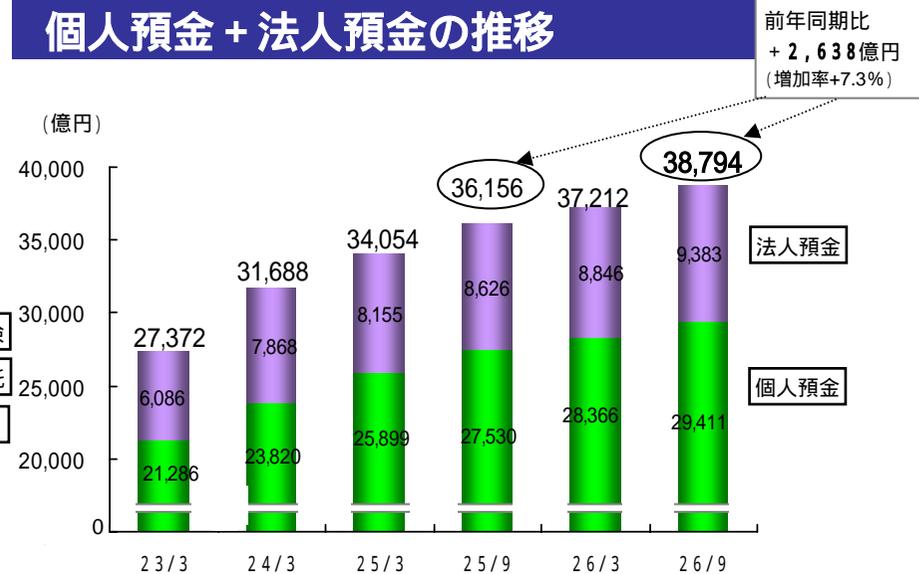
2. 総預かり資産の状況

総預かり資産残高は前年同期比 2,348 億円増加 (増加率 +4.6%)。うち預金残高は前年同期比 2,638 億円増加 (増加率+6.5%)
特に個人預金残高は前年同期比 1,881 億円増加 (増加率 +6.8%)

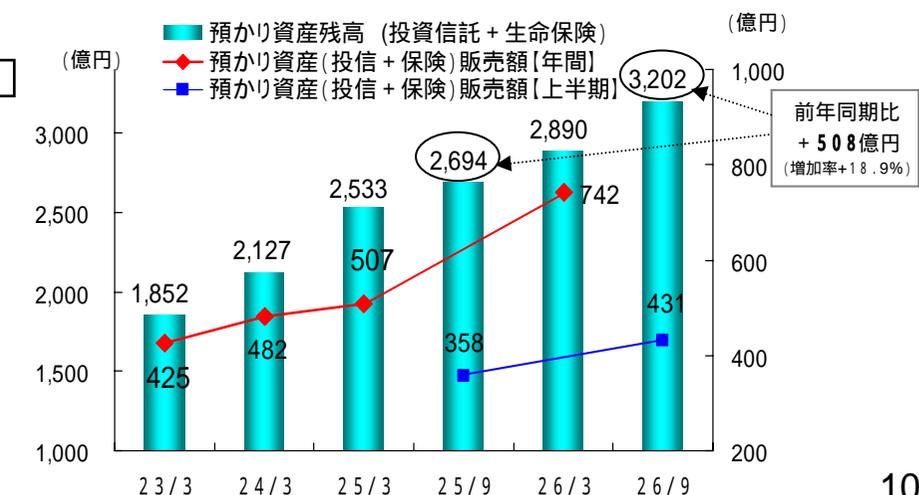
総預かり資産残高 [預金 + 預かり資産] の推移



個人預金 + 法人預金の推移



預かり資産残高・販売額 [投資信託 + 生命保険] の推移

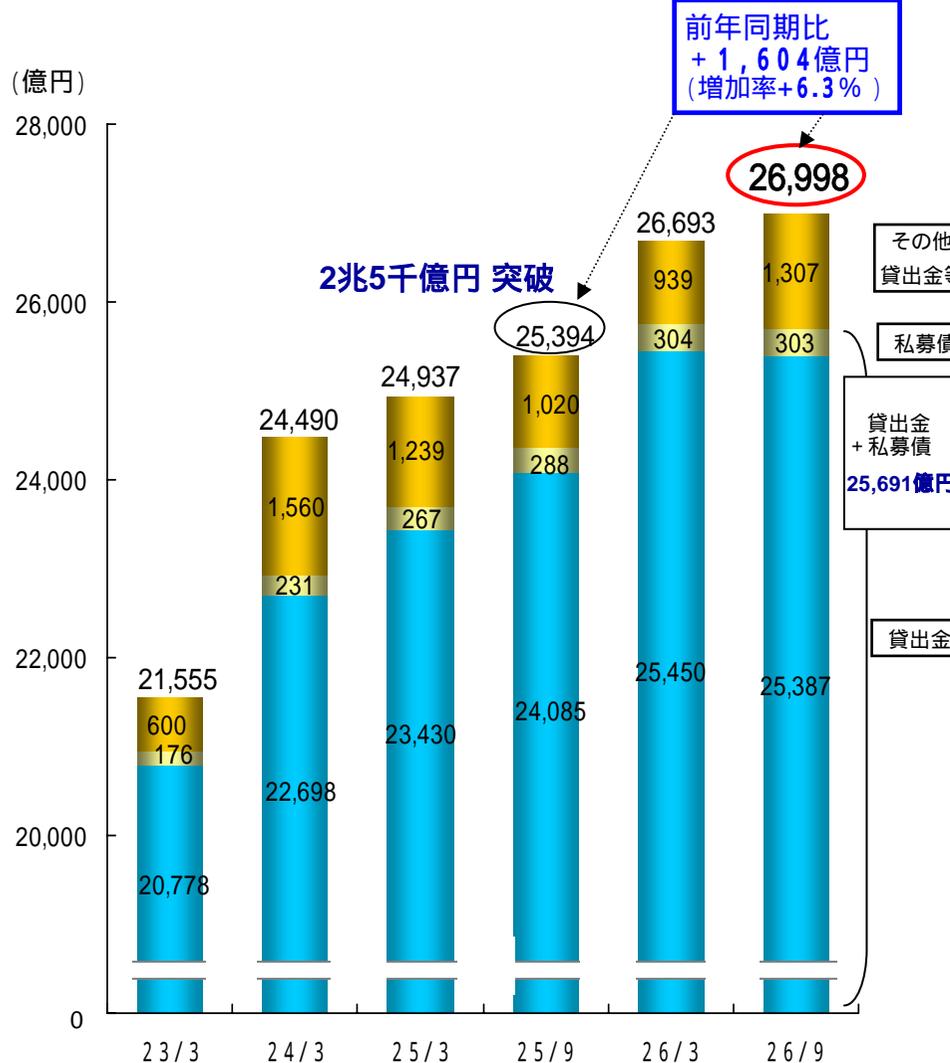


3. 貸出金の状況

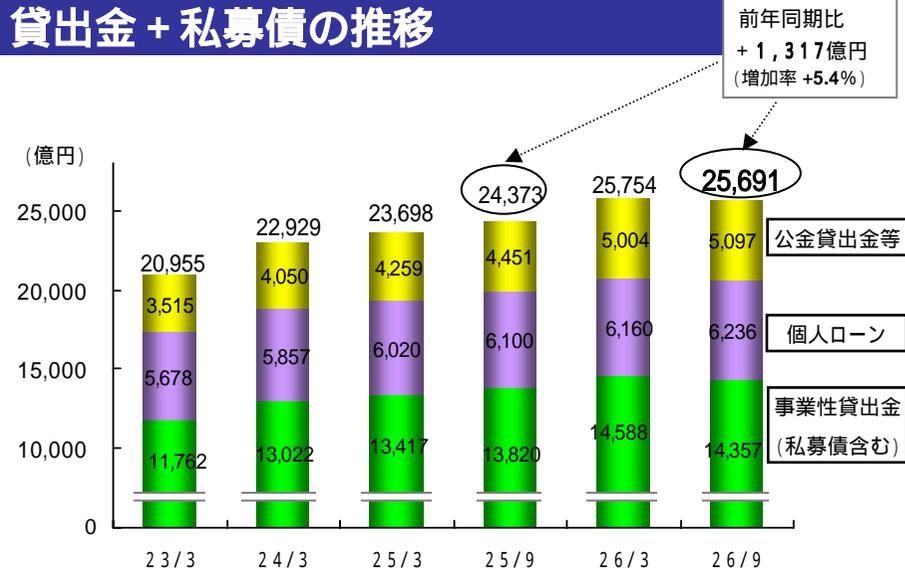
総貸出金 + 私募債残高は前年同期比 **1,604億円増加** (増加率+6.3%)。

貸出金 + 私募債残高は前年同期比 **1,317億円増加** (増加率+5.4%) し、**2兆5千億円を突破**。

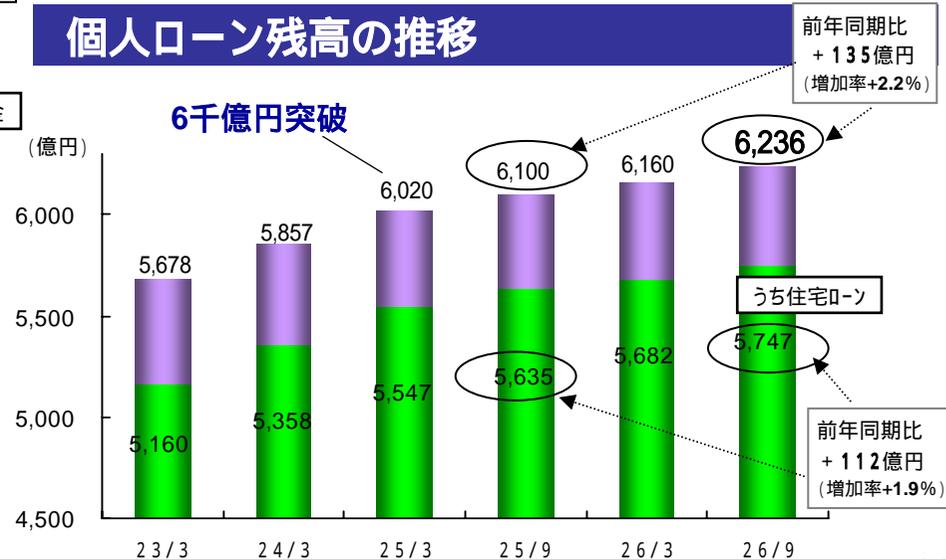
総貸出金 + 私募債の推移



貸出金 + 私募債の推移



個人ローン残高の推移



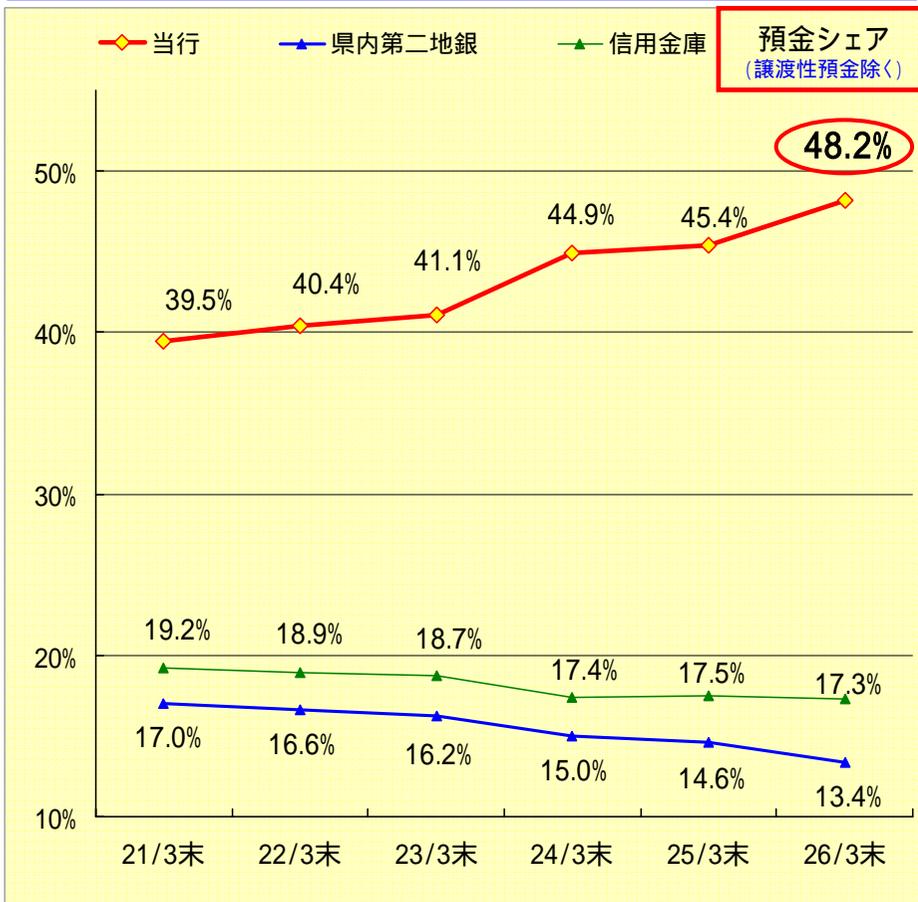
4. 福島県内の預金・貸出金シェア

福島県内の**預金シェア**は着実に伸張し **48.2%**
 福島県内の私募債を含めた**貸出金シェア**は **40.5%**(推計)

福島県内 預金シェアの推移

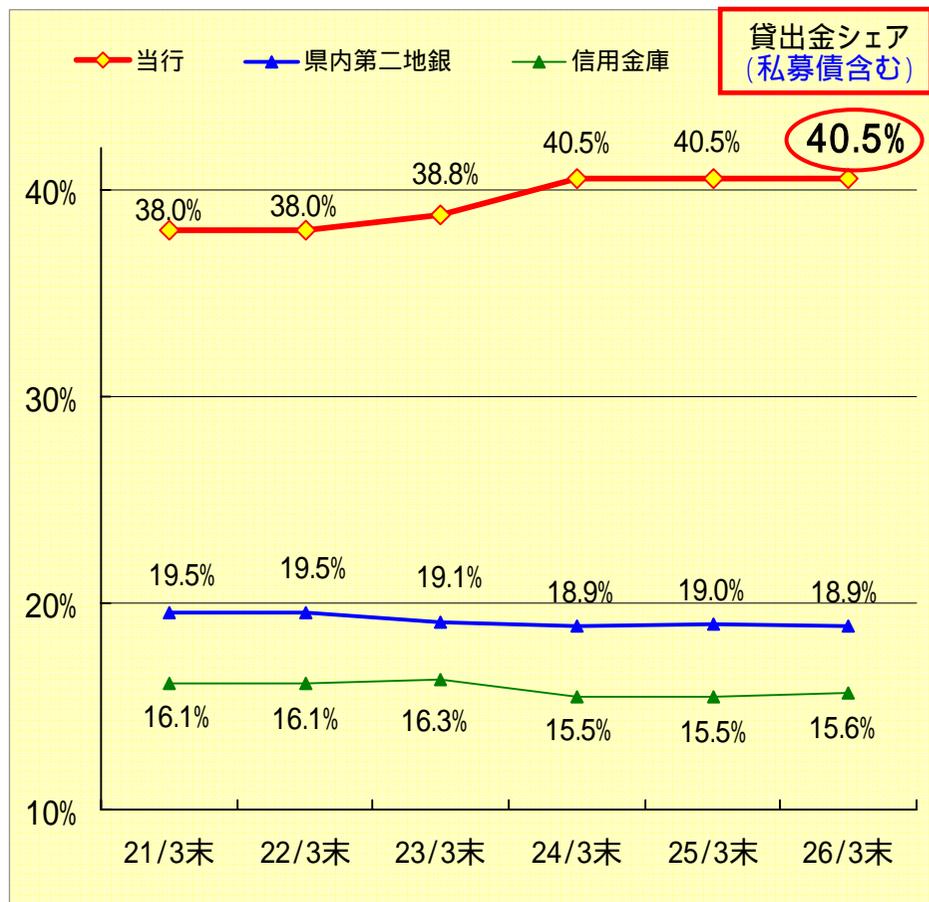
ゆうちょ銀行・農協を除く、本部預金含む、譲渡性預金除く

譲渡性預金残高(26/3末) 約4,000億円



福島県内 貸出金シェアの推移

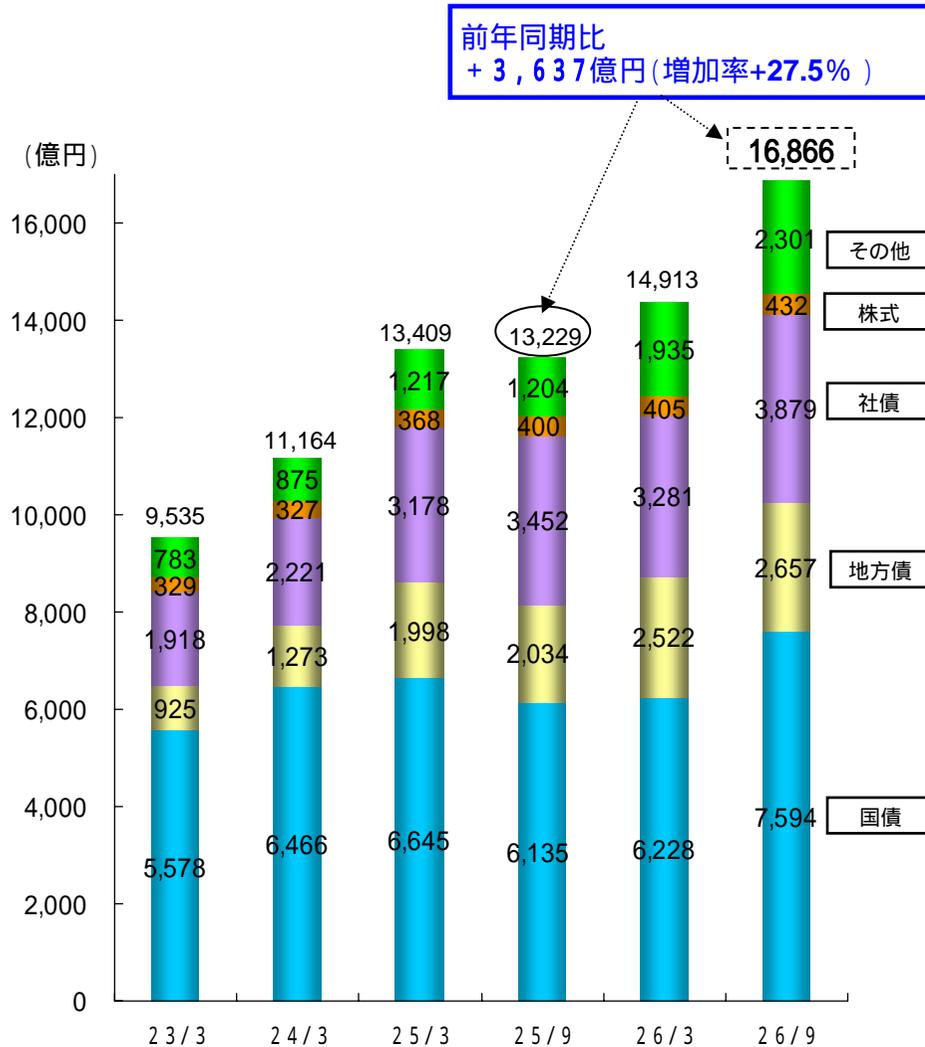
農協・政府系金融機関を除く、本部貸含む



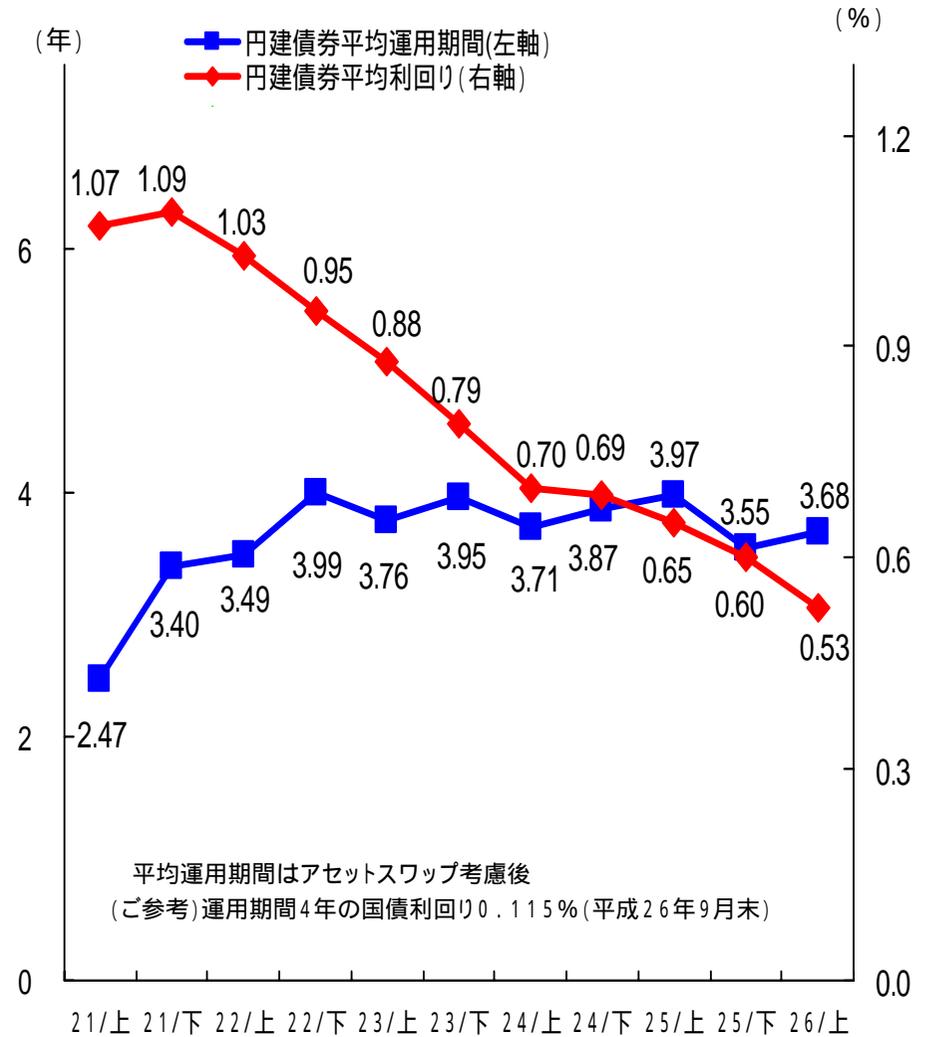
5. 有価証券の状況

投資環境や市場動向を踏まえ機動的な資金運用に努めた結果、前年同期比 **3,637億円増加** (増加率 + 27.5%)

有価証券の構成推移



円建債券平均運用期間・利回りの状況



6. 資金利益の状況

市場金利は低下傾向も、貸出金・有価証券の残高増加が寄与し、**資金利益は前年同期比 4 億円増加**
平成20年度上期以来、**6年ぶりに資金利益が前年同期比プラス**

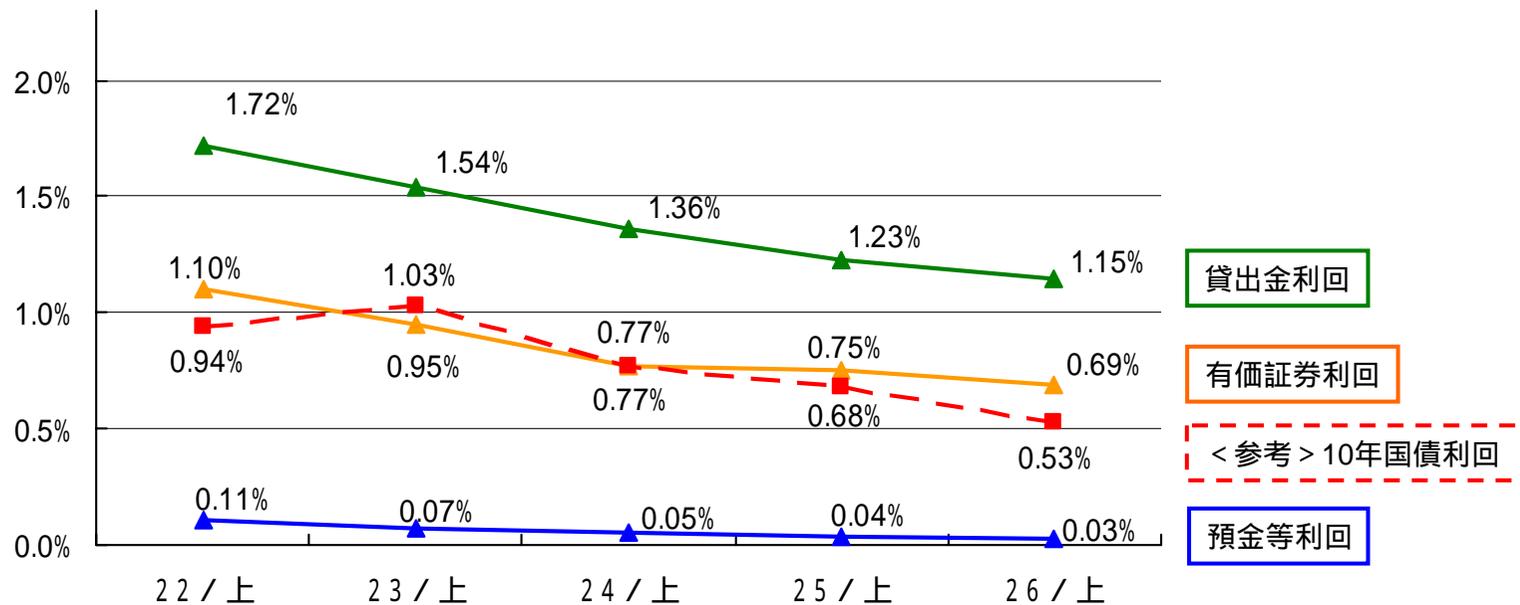
資金利益内訳

(上半期実績)

(単位:億円)

| | 22 / 上 | 23 / 上 | 24 / 上 | 25 / 上(a) | 26 / 上(b) | 増減 (b) - (a) |
|------------|--------|--------|--------|-----------|-----------|-----------------|
| 資金利益 | 210 | 205 | 200 | 197 | 201 | + 4 |
| うち貸出金利息 | 179 | 169 | 166 | 153 | 154 | + 1 |
| うち有価証券利息 | 49 | 49 | 44 | 51 | 55 | + 4 |
| うち預金等利息() | 18 | 12 | 10 | 9 | 9 | 0 |

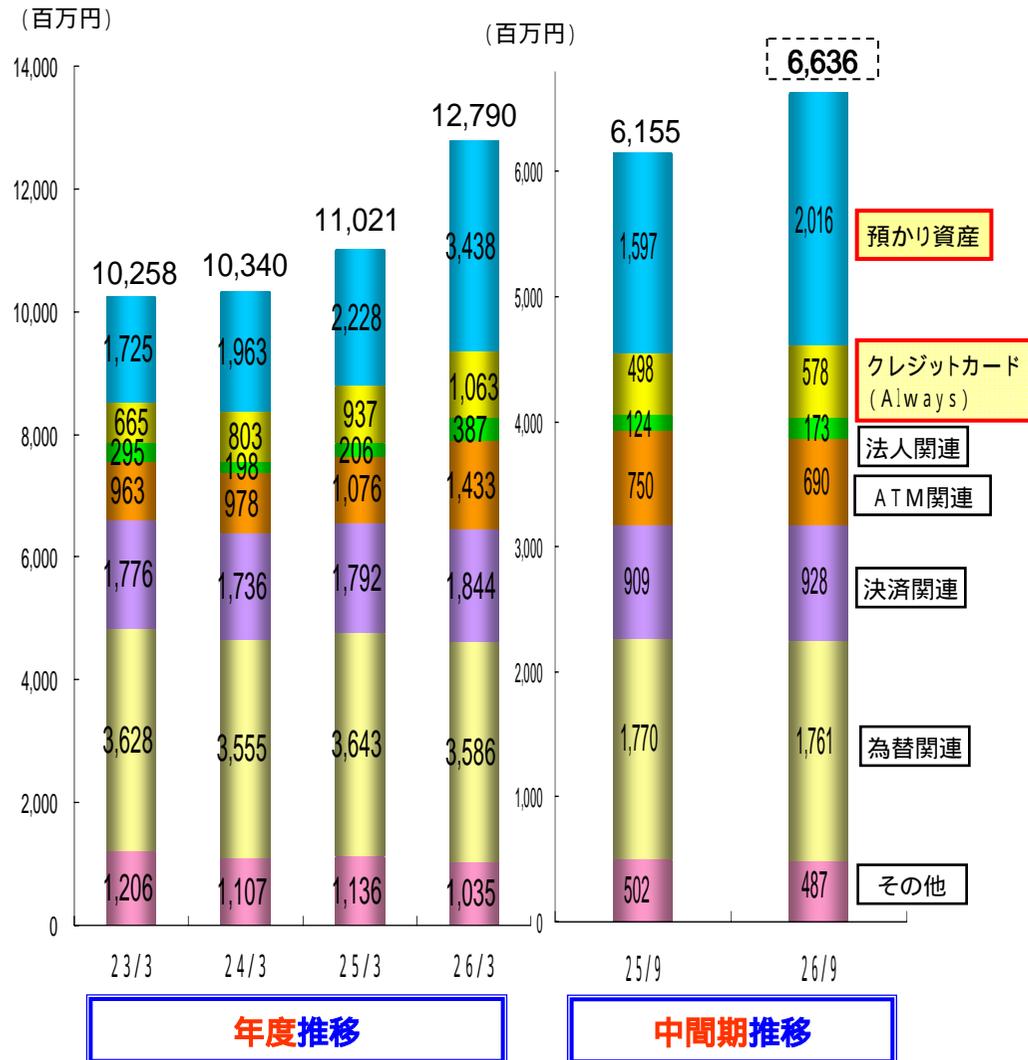
利回りの推移



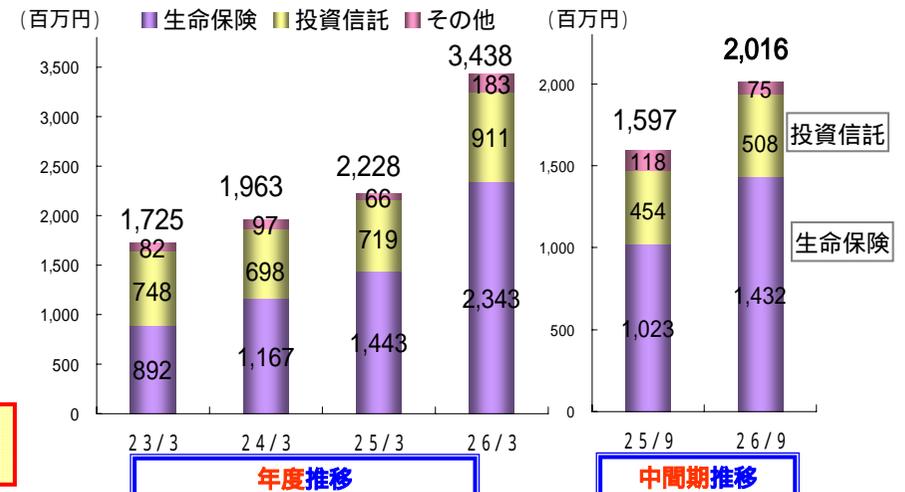
7. 役務取引等収益(手数料収益)の状況

預かり資産、クレジットカード手数料等の増加により、前年同期比 **5億円増収**

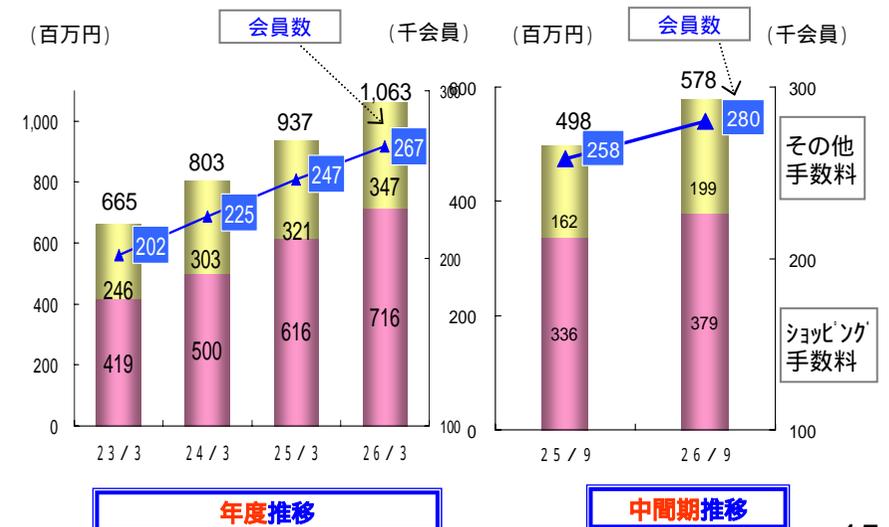
役務取引等収益の推移



預かり資産収益の推移



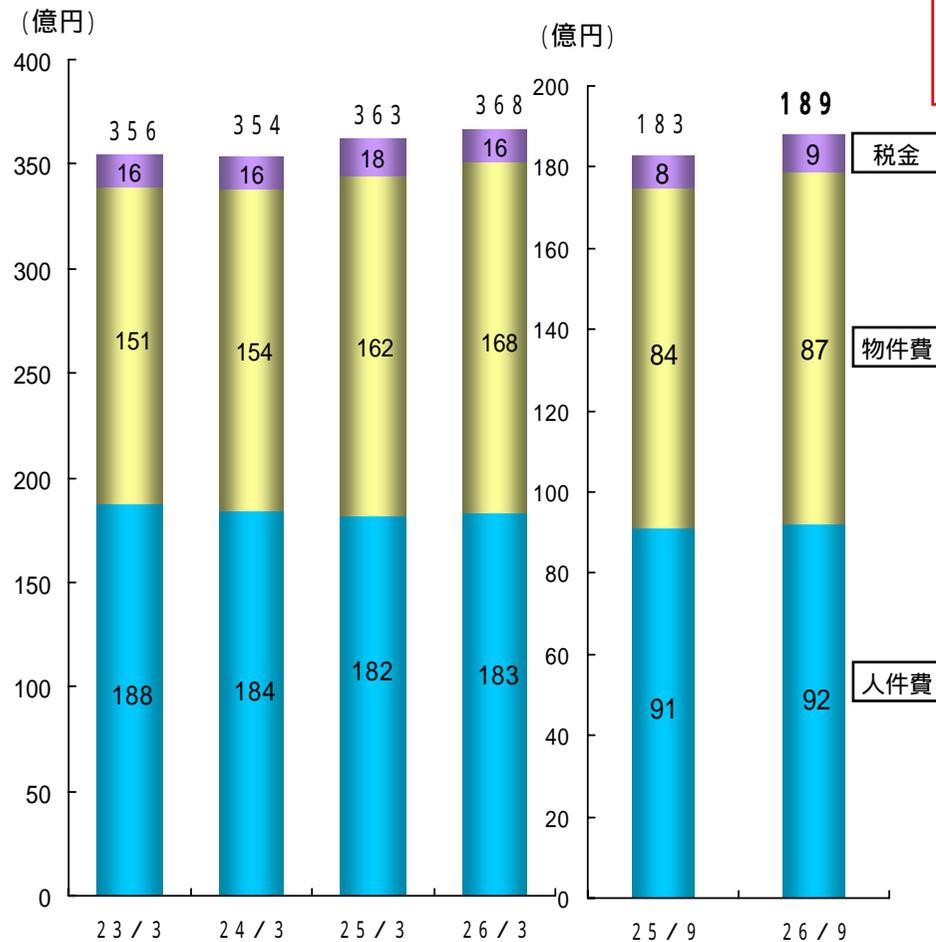
クレジットカード(Alwaysカード)関連収益の推移



8. 経費の状況

店舗リニューアルなど大型投資を実施したことに加え、預金保険料等の増加もあり、前年同期比増加

経費の推移

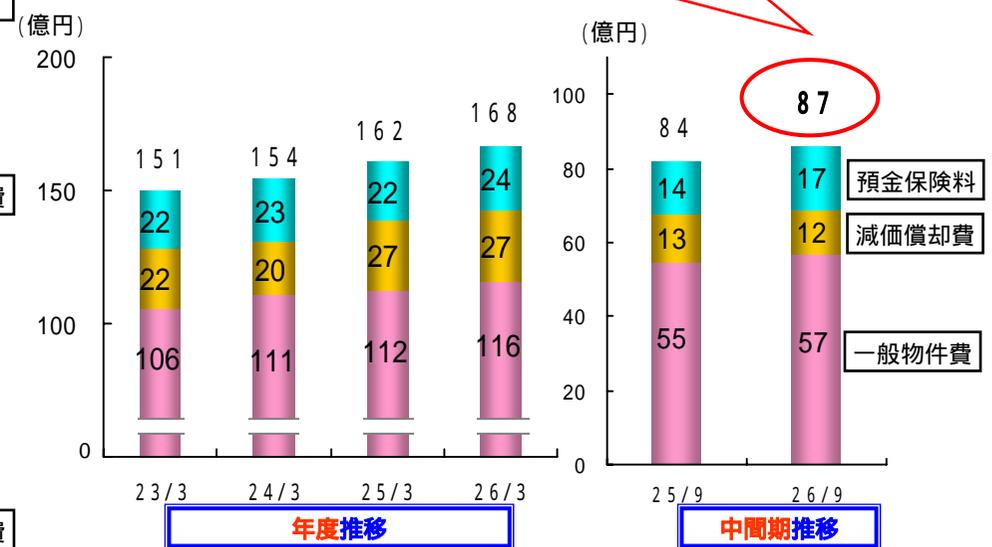


年度推移

中間期推移

物件費の推移

預金の増加に伴う預金保険料増加: + 3 億円
店舗リニューアルなど戦略的投資による一般物件費増加: + 2 億円



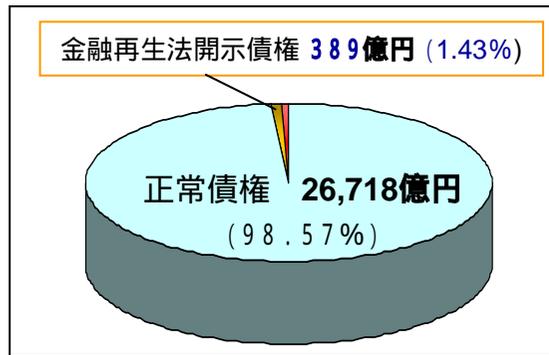
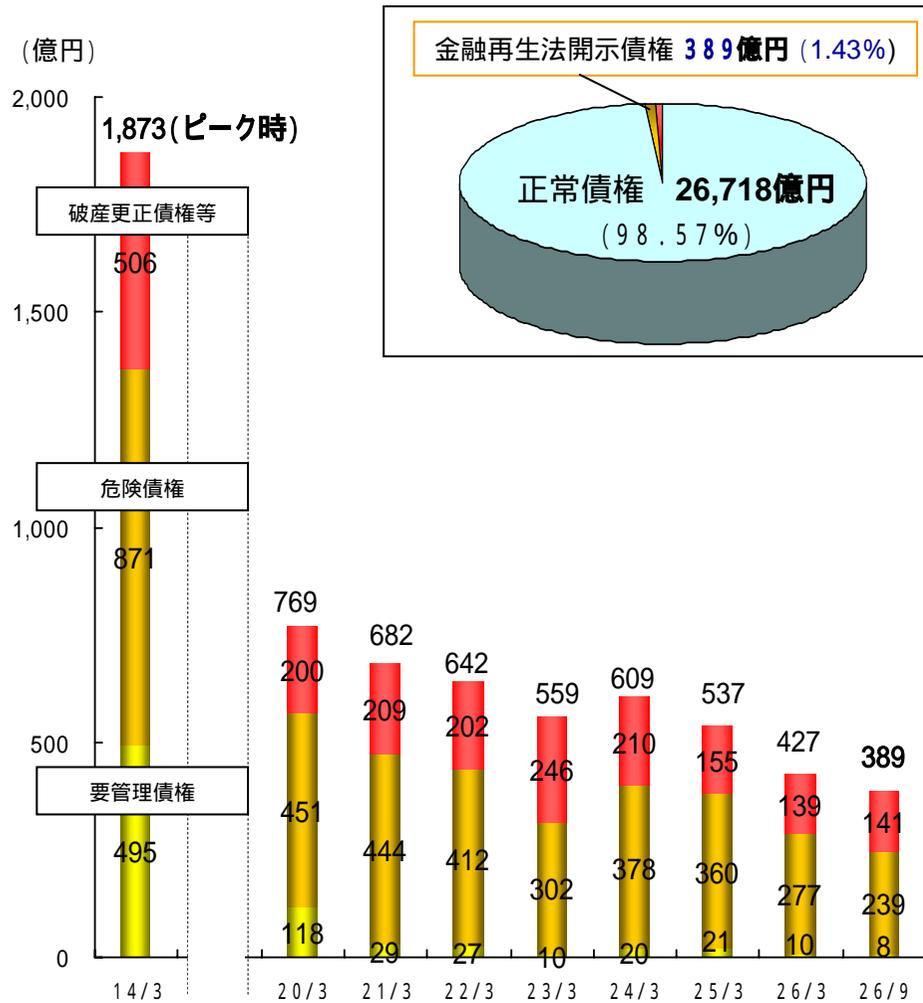
職員数の推移

| | 22/9末 | 23/9末 | 24/9末 | 25/9末 | 26/9末 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 職員数 | 2,038 | 2,042 | 2,021 | 2,015 | 2,043 |

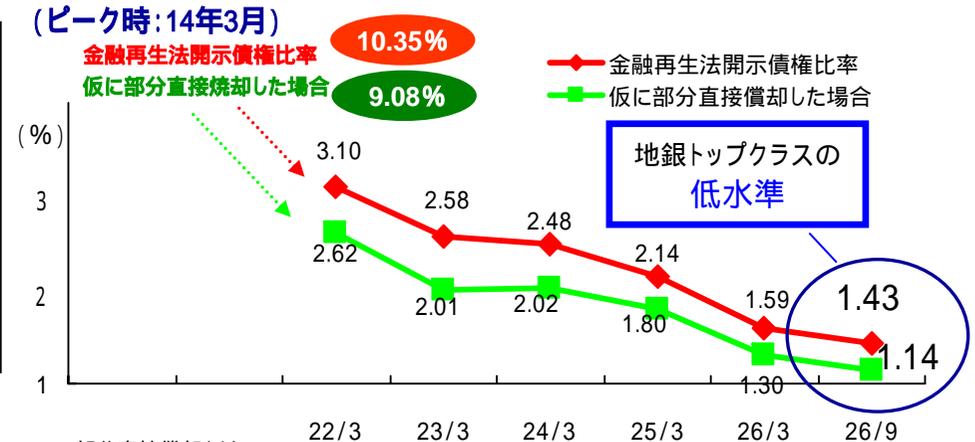
9. 貸出資産の質

金融再生法開示債権比率は1.43%まで低下(部分直接償却を実施した場合は1.14%) いずれも2%を切る低水準

金融再生法開示債権の推移

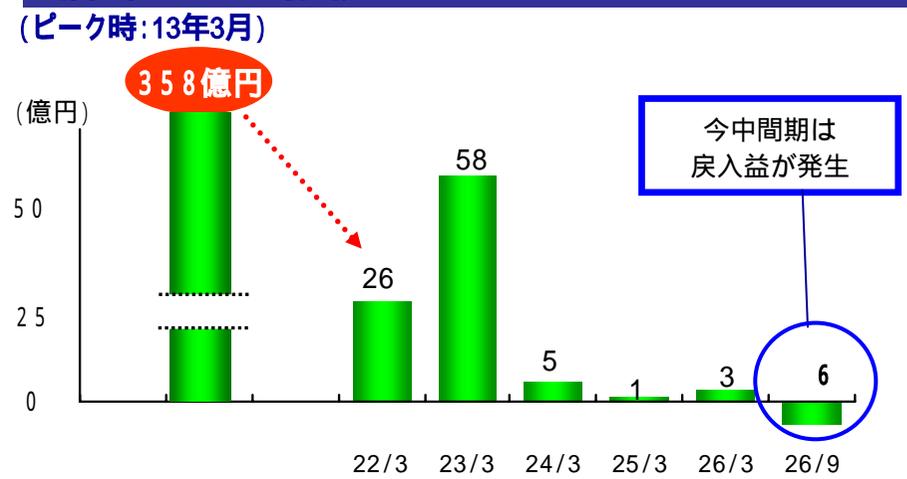


金融再生法開示債権比率の推移



部分直接償却とは
「破産更生債権等」について、回収困難と認められる額に対し個別貸倒引当金の計上ではなく、貸倒償却として債権額から直接減額すること。

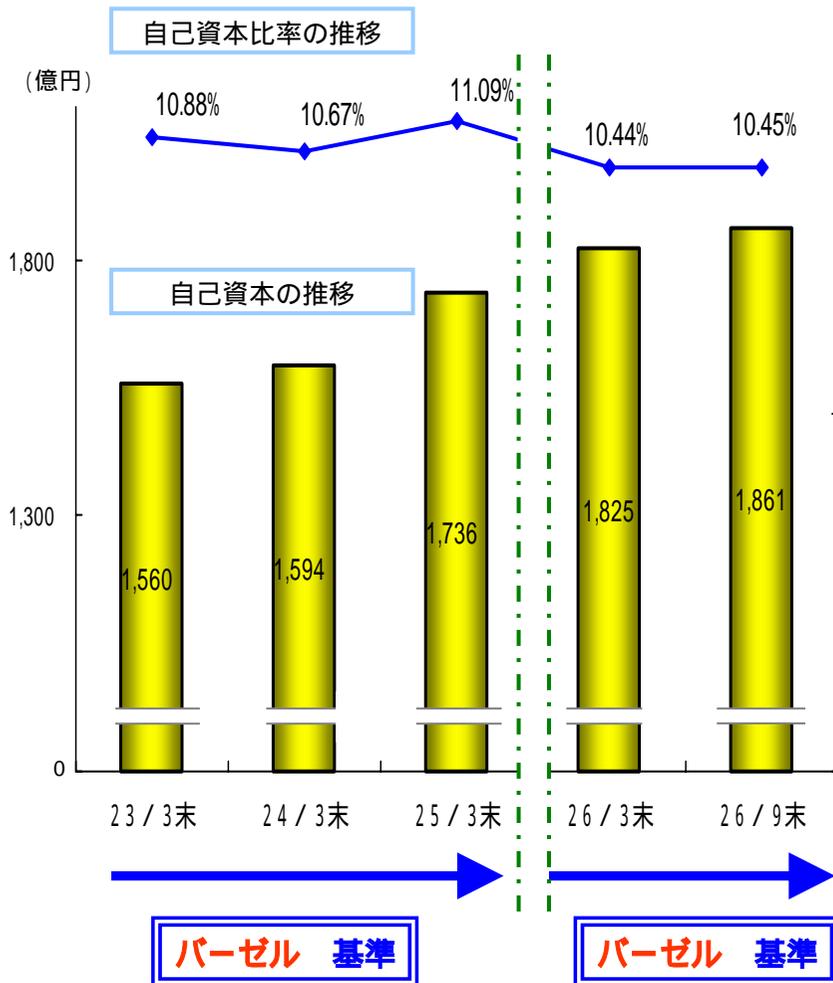
信用コストの推移



10. 経営の健全性

リスクアセット等の増加に応じて内部留保の積上げを図り、自己資本比率は10.45%を確保
平成26年3月末とほぼ同水準

自己資本比率の推移(単体)



自己資本の推移(単体)

(億円)

| | 26/3末 | 26/9末 | 増減 |
|------------------------------|--------|--------|--------|
| 自己資本 (A) | 1,825 | 1,861 | +35 |
| うち 負債性資本調達手段 (劣後ローン) | 266 | 266 | ±0 |
| リスクアセット等 (B) (各種調整後の総資産等) | 17,484 | 17,803 | +318 |
| 自己資本比率 ($\frac{A}{B}$) | 10.44% | 10.45% | +0.01% |

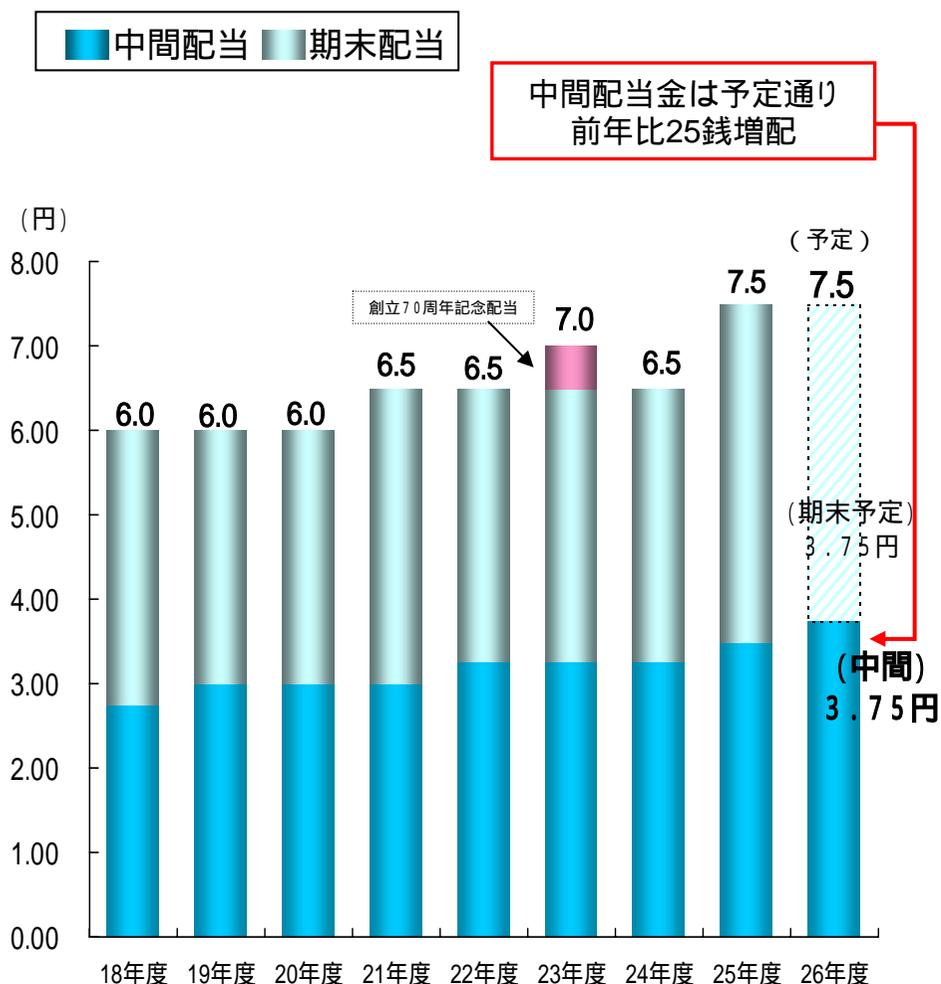
バーゼル 自己資本比率規制の水準 (国内基準行は4%以上) を十分上回る。

(平成26年3月末より、バーゼル 基準(国内基準行向け)が適用)

11. 株主の皆さま方へ

26年度中間配当 …… **中間配当金は当初予定通り、前年比25銭増配**の1株当たり**3円75銭**
 年間の配当金 …… **期末配当金は3円75銭**を予定。**年間の配当金は1円増配した前年と同額の7円50銭**とする予定

1株あたり配当金



株主優待の充実

「株主さまご優待:ふくしまからの贈りもの」(平成26年6月より新設)

ご優待品カタログより、のいずれかをご選択

「福島県宿泊施設ご優待券」(ご利用可能施設220先)

| 保有株式数 | ご優待券種 |
|------------------|--------|
| 1,000株以上5,000株未満 | 3,000円 |
| 5,000株以上 | 5,000円 |

「福島県の特産品」(計50品目)

福島県復興支援通販「うつくしま良品本舗」の人気商品を集め
 その中からお好みの品物をご選択



株主優待定期預金

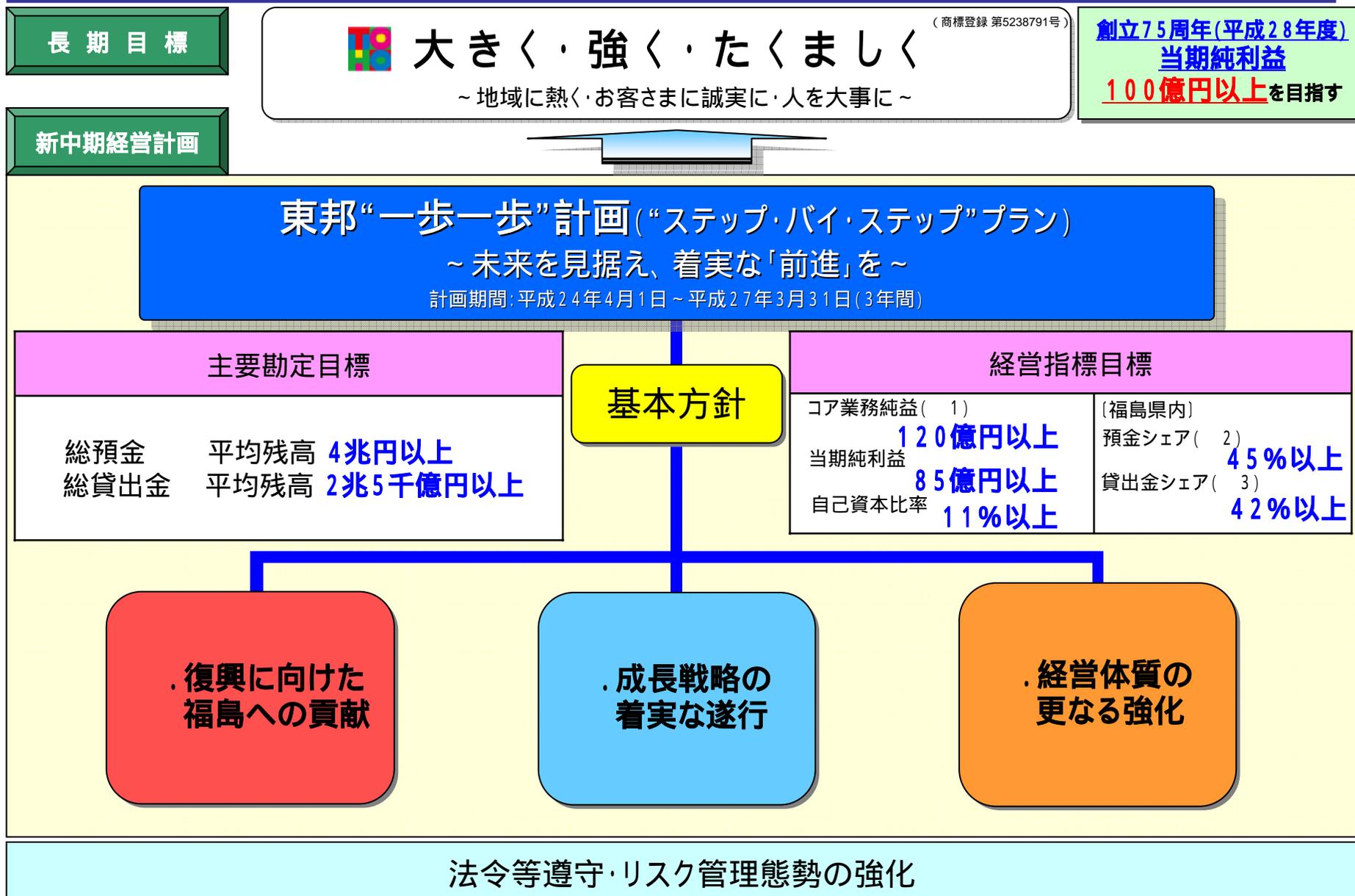
1年もの定期預金(預入金額10万円以上300万円以内)に

0.3%の金利上乘せを実施

【取扱実績】(平成26年9月末残高)3,244件 / 76億円

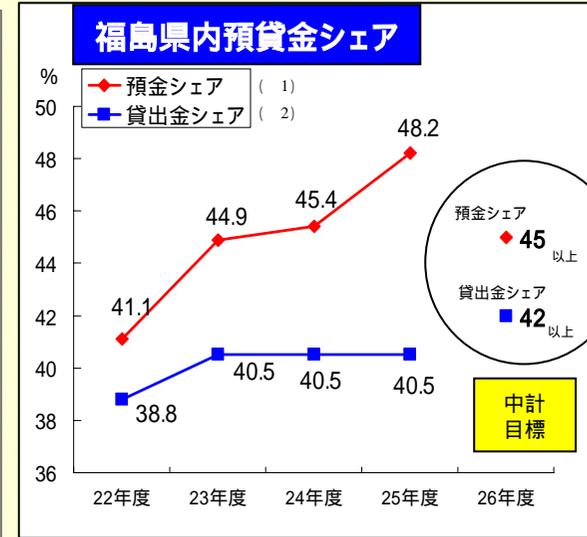
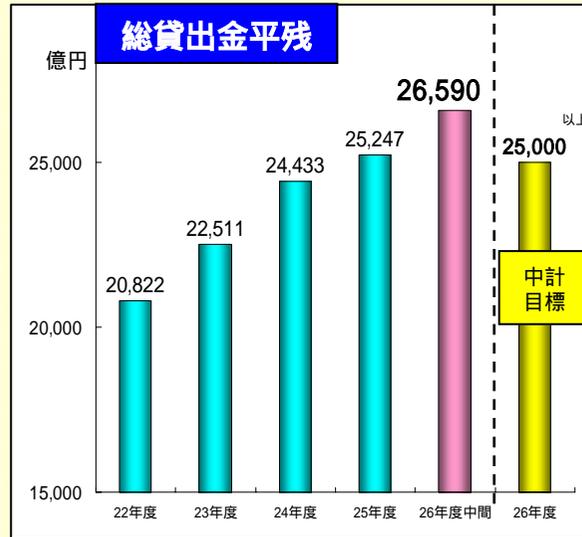
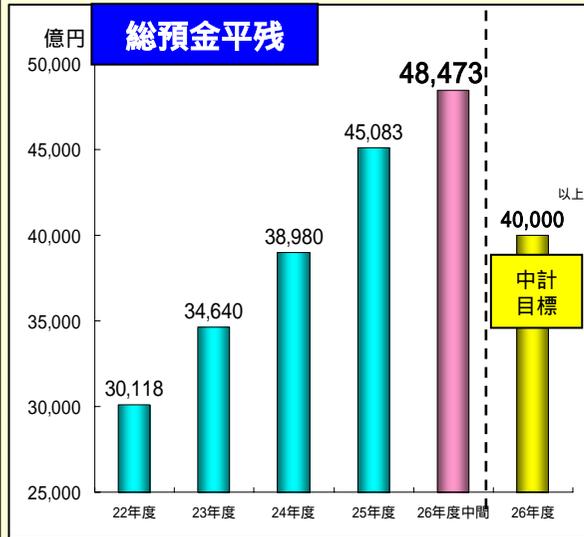
中期経営計画 「東邦“一步一步”計画」

1. 中期経営計画の概要(1)

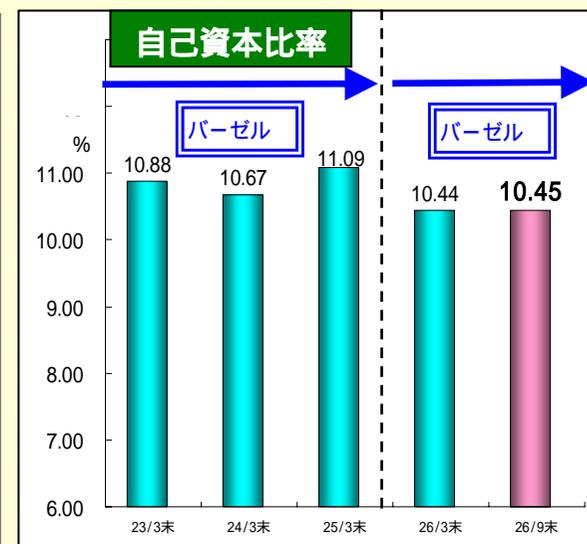
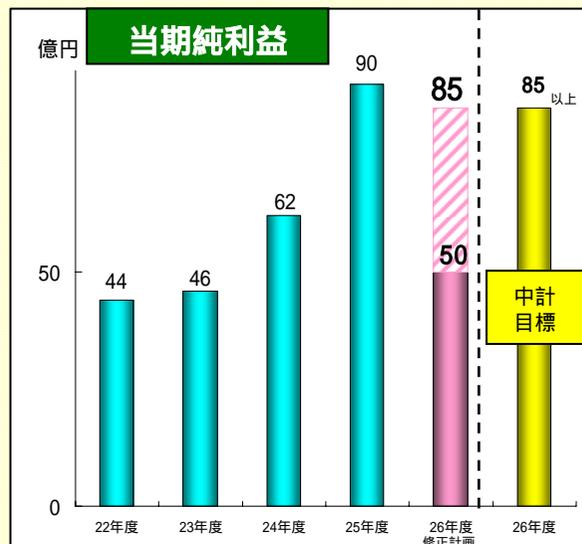
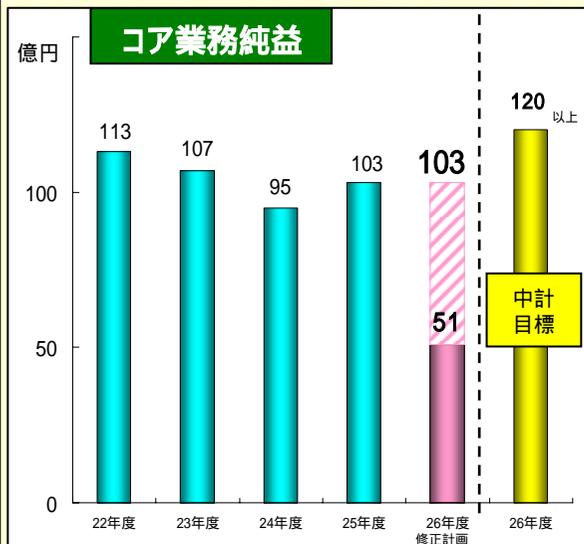


(1)実質業務純益 - 債券関係損益、(2)ゆうちょ銀行・農協を除く、(3)農協・政府系金融機関を除く。

2. 中期経営計画の概要(2) ~ 主要勘定目標、経営指標目標 ~



(1) ゆうちょ銀行・農協を除く、(2) 農協・政府系金融機関を除く、当行私募債含む



3. 企業のライフステージに対応した支援【創業期】

(1) 起業・創業支援への取り組み

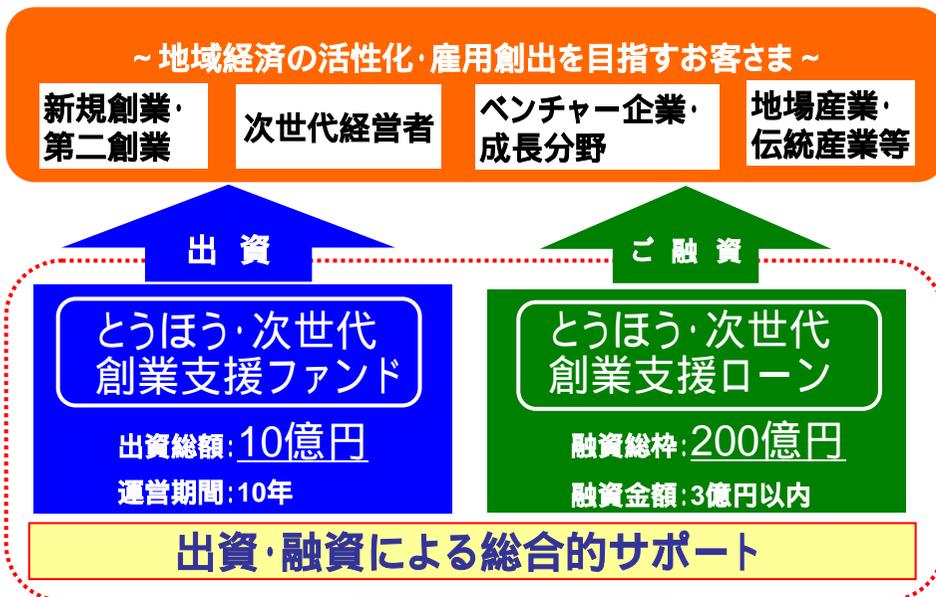
創業支援

出資・融資などによる総合的なサポート

次世代創業支援ファンド・ローン

金融庁「新規融資や経営改善・事業再生支援等における参考事例集」に掲載

【スキーム図】



累計実績 (平成26年11月20日現在)

【次世代創業支援ファンド】 ▶ 6件 320百万円

| 事業内容 | 投資額 | 出資形態 |
|--------|--------|---------|
| クリーニング | 50百万円 | 株式 |
| 植物工場 | 50百万円 | 株式 |
| 婦人服小売 | 60百万円 | 株式および社債 |
| 情報サービス | 100百万円 | 株式 |
| 太陽光発電 | 100百万円 | 匿名組合出資 |
| 太陽光発電 | 50百万円 | 株式 |

若手経営者支援

次世代経営者支援体制の構築

復興支援「とうほう次世代経営者倶楽部」

会員数 640名

創設の目的

人脈づくりのお手伝い
復興に向けた情報の提供【とうほう次世代経営者セミナー】
経営者としてのスキルアップ支援



若手経営者向け実践講座 「とうほう次世代経営者塾」創設

第一期生 ▶ 32名(うち女性4名)

第二期生 ▶ 27名(うち女性5名)



3. 企業のライフステージに対応した支援【成長・成熟期】 (2) 多様な資金ニーズへの対応

復興資金の提供

震災関連制度資金の実行額累計 (震災以降平成26年9月末)

事業者向け 4,500件 / 1,050億円

個人向け 500件 / 7億円

復興支援ファンド等の活用

ファンド出資状況

| ファンド名 | ファンドの種類 | 主な出資者 | ファンド総額 | うち 当行 出資額 47 億円 |
|-------------------|-----------|------------------------|--------|-----------------------------|
| 東北インキュベーションファンド | 株式未公開会社支援 | 当行、日本政策投資銀行 東北地銀 | 32億円 | |
| 東北グロースファンド | 同上 | 当行、日本政策投資銀行 東北地銀 | 36億円 | |
| うつくしま未来ファンド | 事業再生支援 | 当行、中小機構 県内金融機関 | 30億円 | |
| 福島産業復興機構 | 同上 | 当行、中小機構 県内金融機関 | 100億円 | |
| ふくしま地域産業6次化支援ファンド | 成長分野支援 | 当行、農林機構 県内金融機関 | 20億円 | |
| ふくしま応援ファンド | 経営支援 | 当行、日本政策投資銀行 | 50億円 | |
| 東日本大震災中小企業支援ファンド | 同上 | 当行、中小機構 青森、岩手、七十七銀行 | 88億円 | |

ふくしま応援ファンド

投融资実績累計 ▶ 12件 / 30億円

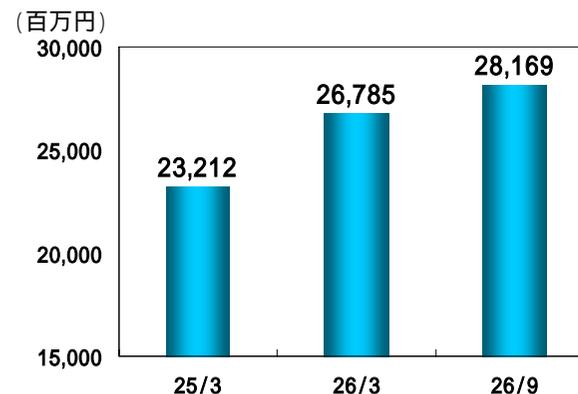
東日本大震災中小企業復興支援ファンド

投融资実績累計 ▶ 1件 / 3億円

私募債の積極的な引受け

私募債引受額累計 513件 / 581億円 (平成26年9月末)

< 私募債残高推移 >



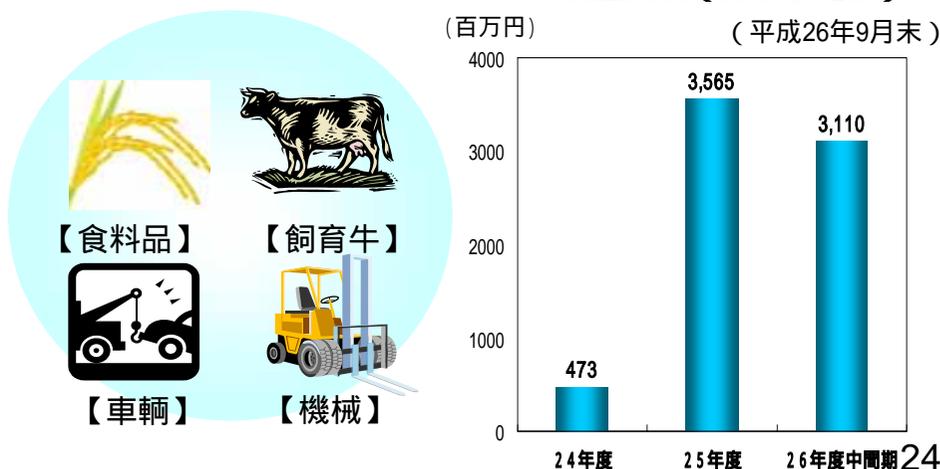
動産担保融資 (ABL) への取組み

不動産担保・個人保証に依存しない融資手法

「動産評価アドバイザー」5名を本部専門部署に配置

< ABL取組実績 (含む予定額) >

(百万円) (平成26年9月末)



【食料品】



【車輛】



【飼育牛】



【機械】

3. 企業のライフステージに対応した支援【成長・成熟期】 (3) 地域の基幹産業および成長産業の支援

地域の基幹産業支援

お客様の販路拡大等を支援

「食」関連産業の支援

「ふくしま酒まつり」を共催（於：東京丸の内「丸ビル」）



「ふくしまの酒」をPRするイベントを県酒造協同組合と共催。丸ビルを所有する三菱地所が全面協力。

「ふくしまフードフェア」（食の商談会）

▶ 福島県・JA福島・農林中金と共催



観光産業の支援

当行の株主優待制度

「ふくしまからの贈りもの」において

「福島県宿泊施設ご優待券」

「福島県の特産品」の
いずれかをご提供



成長産業等の支援

再生Eco+分野、医療産業等を支援

再生可能エネルギー分野への融資実績

▶ **156件 278億円**（平成26年9月末累計）

立地企業対象先への融資実績

（単位：億円、平成26年9月末累計）

| 制度名 | 件数 | 実行金額 |
|-------------------------|-----|------|
| A. 立地補助金 | 196 | 725 |
| ふくしま産業復興企業立地補助金 | 177 | 697 |
| 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金 | 19 | 28 |
| B. 復興特区利子補給金 | 29 | 181 |
| 合計（A+B） | 225 | 906 |

ものづくり産業の支援

「東邦・ビジネスマッチング」実績（ものづくり関連企業）

▶ 参加企業20社 商談件数80件

協働事業プロジェクト「アクションJAT」

▶ 当行、常陽銀行が橋渡し役となり、産総研・福島再生可能Eco+研究所と企業の連携を支援

工場立地・企業進出を支援

▶ 首都圏駐在行員を配置



3. 企業のライフステージに対応した支援【成長・成熟期】 (4) 海外マーケットへの進出支援

海外マーケットへの進出支援

海外銀行との提携、行員海外派遣等によりお客さまの海外での事業展開を積極的に支援

金融サービスの拡充

- 輸入の決済代金
- 海外進出資金等への資金手当
- 海外現地法人向け直接融資

「海外事業支援セミナー」の開催



平成26年7月開催

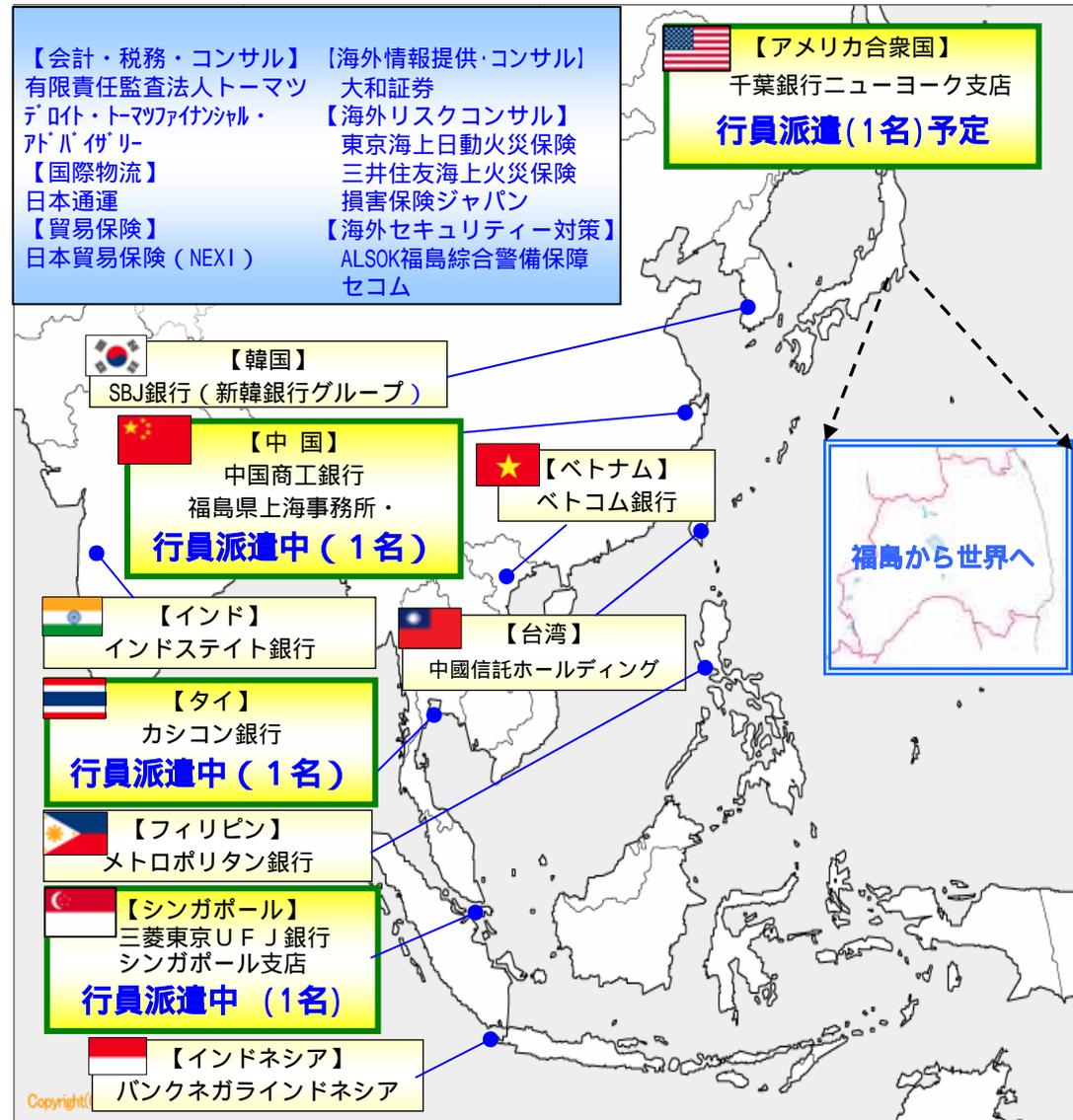
海外における商談会の開催（共催）

「FBC上海2014
(ものづくり商談会)」
550社出展



「ものづくり商談会
@バンコク2014」
150社出展

海外銀行や各種専門家と積極的に業務提携を実施



3. 企業のライフステージに対応した支援【変革期】 (5) 事業再生支援・事業承継支援

事業再生・経営支援

外部機関と連携し積極的に支援

事業再生支援の実績

< 事業再生の実績累計 > (先、人、億円)

| | 企業数 | 従業員数 | 融資額 |
|-------------|-----------|--------------|------------|
| 支援協議会 | 13 | 1,016 | 133 |
| 地域経済活性化支援機構 | 3 | 1,411 | 114 |
| その他私的再生 | 24 | 2,433 | 303 |
| 法的再生 | 5 | 1,622 | 208 |
| 合計 | 45 | 6,482 | 758 |

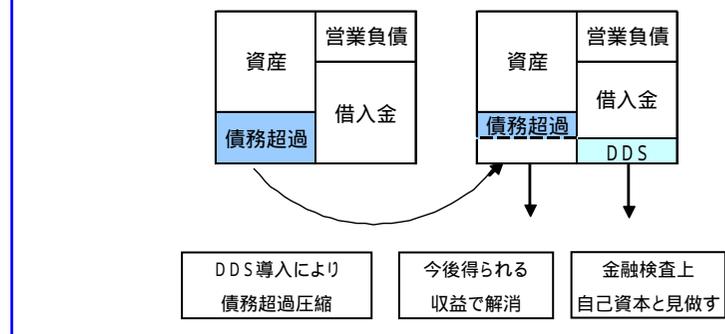
連携先外部機関

地域経済活性化支援機構
福島県中小企業再生支援協議会
福島産業復興機構
東日本大震災事業者再生支援機構
個人版私的整理ガイドライン運営委員会

資本金借入金（DDS）を積極的に活用

< 累計実績 > (平成26年9月末) 6件 11億5千万円

資本金借入金（DDS）スキーム図



円滑な事業承継の支援

事業承継が必要なお客さまを支援

事業承継支援への取り組み

営業店と本部が連携し課題解決に向けたサポートを実施
外部専門機関と連携し、個社毎のサポート体制を構築

| | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 上期 |
|------|--------|--------|--------|--------------|
| 対応先数 | 220 | 264 | 280 | 190 |

後継者問題への対応策等としてのM & A業務の取り組み

経営課題提案型営業の取り組みに対する評価

日本M & Aセンター主催「第2回バンクオブザイヤー表彰」(注)において
最高賞となる“**バンクオブザイヤー(成約実績優秀賞)**”を受賞



(注)企業の営業譲渡や
資本提携に対する
取り組みが顕著な地方銀行を
称える表彰

M & A関連手数料収入の実績

▶ 平成25年度 107百万円

4. 個人のライフステージに対応した支援 (1) 赤ちゃん世代からシニア世代まで

世代層別の当行メイン化を積極的に推進

誕生～若年期

| |
|---------------------|
| 若年層との取引強化 (取引開始) |
| 誕生 進学 |

青年～壮年期

| |
|--------------------------------|
| マネーライフプランの相談 (資産運用・ローン・保険等) |
| 就職 結婚 お子様誕生 住宅取得 お子様進学 |

高齢成熟期

| |
|------------------------|
| セカンドライフの相談 (年金・相続等) |
| 介護 退職 年金 相続 |

主
な
商
品
等

「あつまれ 元気な
ふくしまっ子」



教育資金専用口座
「未来・ふくしまっ子」



写真付普通預金通帳

Alwaysカード

少額投資非課税制度

投資信託
一括購入・積立投信
給与振込

ローン関連

住宅ローン 女性向けローン
教育ローン 住宅ローン「きらら」、フリーローン「キララ」
オートローン カードローン
各種ローン ATMカード、あんしんプラス、スマートネクスト

積立定期預金
インターネットバンキング

各種提案DMの発送

各種相談会の実施
方部ごと、全営業店一斉
等で開催

相続専用定期預金
「とうほう・想いのかけはし」



退職金専用定期預金
「Newステージサポートプラン」

年金定期
年金感謝3 Daysの実施
年金自動受取

「積立の東邦」復活運動の実施

定期預金、投資信託、保険商品、国民年金基金の積立獲得運動の展開

株主優待定期預金

4. 個人のライフステージに対応した支援 (2) 集まる預金の仕組みづくり・個人ローンの取組み

イベント・ベスト・マーケティング(EBM)の導入

より一層お客さまのニーズを捉えた営業へ

< EBMシステム~マーケティングを高度化~ >

お客さまのライフイベント・ニーズに合致した複合的なサービスをご提案



() イベント・ベスト・マーケティング (Event Based Marketing)
お客さまのお取引などの変化を捉え、最適なタイミングで最良な商品やサービスを提供する営業手法

クロスセル(複合取引)を強化

年金受取



給与振込

口座開設



住宅ローン

少額非課税制度
NISA



各種ローン



クレジット一体型
キャッシュカード

個人ローン推進体制の強化

ローン専門店

仙台ローンセンター

ローンプラザ福島

八山田ローンセンター

ローンプラザ会津

郡山ローンセンター

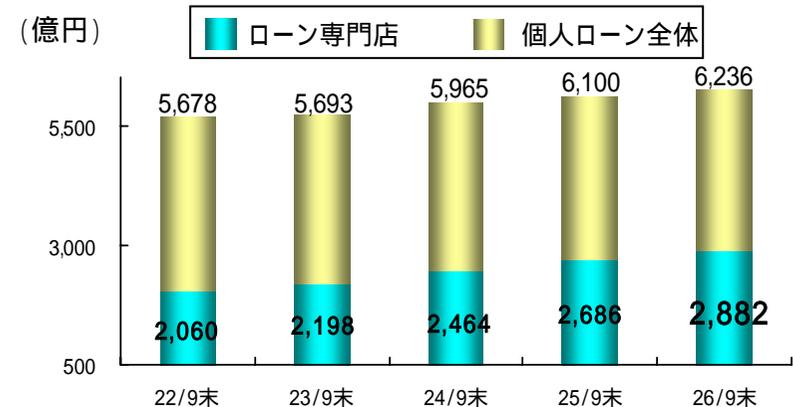
ローンプラザ須賀川

いわき平ローンセンター

白河ローンセンター

いわき鹿島ローンセンター

ローン専門店における個人ローン残高の推移



5. 震災以降の店舗施策



6. 新たなATM戦略と店舗戦略

ATMサービスの拡充

お客さまへの利便性向上へ向け多様な対応

自行ATM利用手数料 **完全無料化**

**ATMはいつでも誰でも何回でも
利用手数料無料!**

対象となるカード
東邦銀行が発行するすべてのカード

対象となるATM
東邦銀行の店舗内・店舗外ATM

対象となるお取引
お預入れ、お引出し、お振込み、お振替え

ご留意点

- コーナーにより営業日・営業時間が異なります。
- お振込みの際は別途所定の振込手数料がかかります。
- コンビニATMや提携金融機関のATMにおけるお取引は所定のATM利用手数料がかかります。
- 他金融機関発行カードやクレジットカードについては所定のATM利用手数料がかかります。

通帳繰越機能付ATM



インスタ型ATM



仙台駅構内のインスタ型ATM

新型ATM導入



視覚障がいをお持ちの方に
配慮したATM



移動ATM車から移動店舗車へ

不測の事態にも金融サービス提供できる体制整備
避難されているお客さまへの利便提供



【移動ATM車】



【移動店舗車(イメージ図)】
平成27年4月稼動予定

7. 他行・他業態との連携

サービスの充実、経営の効率化に向け地銀連携・他業態との連携を積極展開

TSUBASA(翼)プロジェクト

システム共同化検討
プロジェクト(平成20年3月~)
システム領域以外での
幅広い連携も検討

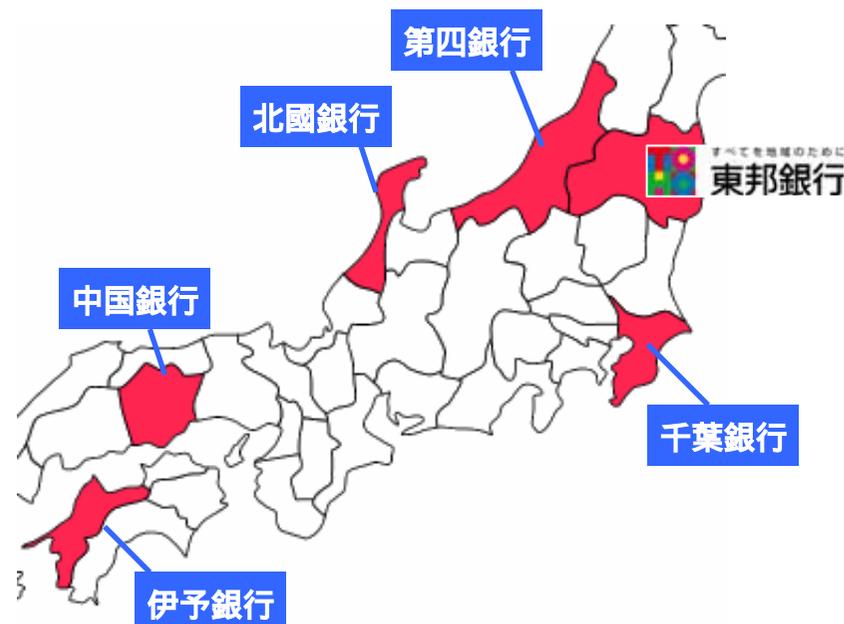


災害時相互協力に関する協定書締結式

【参加行】
千葉銀行、第四銀行、北國銀行、中国銀行、伊予銀行、当行
【主な実績】

平成24年4月新営業店システム導入
既存サブシステムの共同化・連携検討
大規模災害発生時の相互協力協定を締結
市場・国際業務の連携強化に関する協定を締結

TSUBASA(翼)プロジェクト参加行



県内7金融機関「災害時協定」を締結

業態を超えた連携
全国初

福島県を主な営業基盤とする3地銀と4信用組合で
「災害時相互協力に関する協定書」を締結

災害発生時にもお客さまに安心して金融サービスをご利用
いただける体制を強化



災害時相互協力に関する協定書締結式

8 . 独自の研修体系「とうほうユニバーシティ」

独自の研修体系「とうほうユニバーシティ」

「とうほうユニバーシティ」 「基本方針」

高い倫理観のある職場風土の醸成に向けた人材の育成
マネジメント力の強化に向けた人材の育成
基本業務能力の向上に向けた人材の育成
営業力の強化とコンサルティング力の向上に向けた人材の育成
当行の持続的な成長を担う(中長期的な)人材の育成



行内研修・行外研修・休日セミナーを開催

講座数充実、受講者数増加

(平成25年度実績)

| | 講座数 | のべ受講者数 |
|-----------|-----|--------|
| 行内研修・行内留学 | 166 | 4,300名 |
| 行外研修・行外留学 | 130 | 250名 |
| 休日セミナー | 23 | 1,500名 |

行外派遣研修等への積極的な派遣

派遣数は地方銀行トップクラス 毎年200名以上派遣

企業、官公庁等への派遣

主な派遣実績

地方銀行協会研修・留学
大手不動産会社
大手再生可能エネルギー関連事業会社
大手M&A仲介会社
大手シンクタンク
大学院
官民ファンド
メガバンク等金融機関
国、県、市などの官公庁

海外研修への積極的な派遣

当行独自海外研修(米国)を毎年継続開催

地銀協海外研修(東南アジア)、
他社主催海外研修(米国、ヨーロッパ)等に派遣

▶平成25年度累計 派遣実績 30名



9 . 若手と女性、ベテランとシニアの活躍支援 ～ 育児と介護サポート～

ワーク・ライフ・バランス支援の拡大

事業所内保育施設

「とうほう・みんなのキッズランド」開設



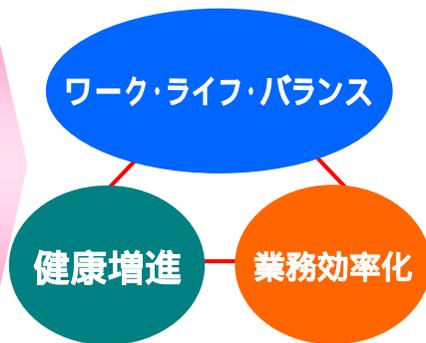
オープニングセレモニー



時間外勤務の“朝型”シフトへの取組み 毎朝7:30～

効率の上がる
“朝型”へ労働時間をシフト

原則、営業店は19時に業務終了
毎朝7時30分～
始業前の時間を有効活用



女性の活躍機会のさらなる創出

女性支店長4名(うち一般店舗2名)、女性副支店長6名
女性役席 約130名(3年比較+50名)
女性役席者比率11.6%(3年比較+4.7%)

厚生労働省 平成26年度
「福島労働局長優良賞」受賞

「女性の能力発揮促進に向けた積極的な取組み」が評価



「福島労働局長優良賞」表彰式



70歳までの活躍機会の拡大

60歳から65歳まで
毎日勤務、ポスト職への登用

65歳から70歳まで
「シニアサポーター」として活躍

10 . 東邦銀行の行内クラブ活動

活発なクラブ活動

「東邦銀行陸上競技部」、「東邦銀行野球部」をはじめ
「吹奏楽部」「合唱部」など**9クラブ総勢300名**が活動中

【東邦銀行陸上競技部】

全日本実業団対抗陸上競技選手権**女子総合4連覇**



【東邦銀行野球部】



【吹奏楽部】



【合唱部】



【TOHOカルテット】



【ランナーズクラブ】



【シーガルテニスクラブ】



【バスケットボールクラブ】



【そば打ちクラブ】



11. 地域貢献・CSR(社会貢献)への取り組み

障がい者雇用への取り組み

株式会社 とうほうスマイル

障がい者の“自立と社会参加の場の創出”を目的に平成24年3月に設立
銀行本体を含めた雇用者総数
63名

東北の金融機関初の取り組み



印刷や名刺・帳票作製等の業務を行う職員

2014ジャパン・パラ陸上競技大会 3連覇



3連覇を果たした佐藤選手

「高齢・障害者雇用機構理事長努力賞」受賞



障がい者雇用の優良企業として受賞

地域のスポーツ活動への貢献

市町村対抗ふくしま駅伝



市町村対抗福島県ソフトボール大会



県営あづま陸上競技場のネーミングライツ取得

名称 「とうほう・みんなのスタジアム」
期間 平成25年5月～平成30年3月



「とうほうの森」づくりの実施

平成21年度より実施している役職員や家族による植林活動



金融経済教育の推進

TOHO親子金融教室

子どもたちに「お金の使い方」「銀行業務」について理解を深めてもらうことを目的に開催



エコノミクス甲子園福島大会

高校生に金融経済の仕組みを楽しく知ってもらう目的で開催



寄附講座

福島大学にて寄附講座を開講
当行役職員が講師となり

「地域金融論」について講義
開講から4年間で60講座実施





すべてを地域のために

東邦銀行

本資料には、将来の業績に係る記述が含まれておりますが、こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境等の変化等により異なる可能性がありますのでご留意ください。

< 本資料に関するお問い合わせ先 >

東邦銀行 総合企画部

TEL 024 - 523 - 3131

FAX 024 - 524 - 1425